

# The University Times

February 2015 Vol. 38

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by Eiken × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2015

## CONTENTS

<ul style="list-style-type: none"> <li>Global Leader's Voice 佐藤 勲さん (東京工業大学グローバルリーダー教育院 教育院長) 1 2</li> <li>Studying Abroad in the U.S.A 私の米国留学 3</li> <li>University's Challenge 芝浦工業大学 4 5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Journalist's Eye 日本人は「おもてなし」が得意? 異物混入事件で大切な危機管理 6</li> <li>News in English 英文記事を読んでみよう 7</li> <li>Visit a Global Company 富士フイルム株式会社 8 9</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Key to Success 留学トラブル解決策/ Book Review 10</li> <li>Scholarship List 奨学金情報 11</li> <li>IELTS World IELTS Hot News 12</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IELTS World IELTSテストのコツ 13</li> <li>IELTS World IELTS 対策コースナビ/攻略本 14</li> <li>Study Abroad Benefits 留学で培う3つの力 15</li> </ul>
--	---	--	--

### Global Leader's Voice

#### グローバルリーダーインタビュー

## 「専門の殻」を破って 幅広い知見を獲得しよう

Vol. 8 佐藤 勲さん 東京工業大学グローバルリーダー教育院 教育院長

平成 23 年、東京工業大学は「グローバルリーダー教育院」を設置し、翌年からは文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」に採択された。真のグローバルリーダーの養成を掲げる新しい大学院の創設者、佐藤勲教育院長にそのユニークな取り組みと、これからの展望について伺った。

### 分野にとらわれない 俯瞰的な視点と能力を

「グローバルリーダー教育院 - Academy for Global Leadership (以下 AGL) はそもそも、『自分の専門にとらわれず、物事を広く見ることができる』、『幅広い知見を生かして世界を牽引できる』学生を育てる目的で創設しました」と佐藤教育院長は切り出した。

「東京工業大学は理工系に強みを持つ大学ですから、多くの学生は『専門分野の学術を深め、細かい点を突き詰めていく』、すなわち“深掘り”の作業を非常に得意としています。これは学術の進展、スキルの向上という側面においては非常に有効と言えます」。しかし、と佐藤教育院長は続ける。

「現代社会の抱える問題や課題は、一つの学術分野の知識だけでは解決できないものがほとんどです。つまり、将来社会の課題を解決できる人材となるためには、個々の専門分野を突き詰めるだけでは不十分なのです。つまり、自分の専門分野は“背骨”としてしっかりと持っているが、それに加えて他の学術もつなげて広く見ることができる、そして実際に広い知見を生かし、世の中に波及効果・

成果を生み出せるようになることが、AGLの学生の目指す到達点となります」

これを踏まえ、AGL はさまざまな専門分野を横断的、俯瞰的に見ることができる学生の養成を理念としている。現在は一橋大学との連携により運営されており、科学技術分野に強みを持つ東京工業大学と、人文社会分野にアドバンテージのある一橋大学が共同で、学生にプログラムを提供している。

### 鍛錬と研鑽を積む 道場プログラム

「AGL に籍を置く学生はまず“道場”に所属し、他学生とともに研鑽を積んでいきます。現在 4 つある道場はそれぞれの道場主(=専任の教員)の企画によってカラーが異なり、学生は 2 クール、すなわち 2 つの道場をクリアすることが求められます」

このユニークな“道場プログラム”は、大きく 3 つの段階から構成される。

まず選抜をくぐり抜けた学生が、『社会で今、どのようなことが課題になっているのか』というテーマで外部の講師からレクチャーを受ける(導入)。その内容を踏まえて学生同士でディスカッションを行い、『自分たちに何



ができるのか』を議論していく(グループワーク)。さらに社会の課題やソリューションについての知見を深めた後、実際に現場に出て成果の実践に取り組む(修了プロジェクト)。

「道場では、さまざまな専門分野の学生が集まり、議論を重ねていきます。実は理工系の学生は普段、同じフィールドに属する学生とともに研究室で過ごすことが大半ですか

ら、多くがダイバーシティには不慣れです。そんな学生が歴史学や地球生命学など、自分の専門外の分野の学生と『社会の課題に対して、自分たちは何ができるのか?』という議論を突き詰めていく。この作業には、とても意義があります」

道場の大きな特徴と言えるのが、徹底した学生主体の方針だ。グループワークの段階か



ら、学生は自ら学びの場を求めて学外にまで飛び出していく。大学側は、その活動を経済面などで後押しする、という立ち位置である。学生の発案で海外の大学、研究機関との連携を行った実績も多い。これまでにインドネシア、モロッコ、中国、アメリカなど、各国に活動の場を広げてきた。

2014年8月にインドで実施したグループワークでは、道場主は『インドに行って、自分たちが行える活動を考える』というテーマを学生に投げたのみで、後はすべて学生がゼロからプログラムを構成。実際に現地ではインド系・日系企業などを多数訪問し、さらにインドの大学生と『インドでの新興事業・ビジネスの可能性について』というテーマでディスカッションを展開するなど、濃密な内容を練り上げた。

「学生はこれらの研修を通して、新興国の持つ雰囲気や現地の人々の価値観・考え方を実際に肌で感じ、理解することになります。また、プロジェクトに参加をした日本人学生の間で強い連帯感が形成される。これらの人脈が、将来学生が広いフィールドで活躍する際の武器になれば良いと期待しています」と佐藤教育院長は語る。

## オフキャンパス教育で世界を舞台に腕試し

実社会の多様な課題、その解決方法について見識を深め、道場プログラムで研鑽を積んだ学生は、AGLのもう一つのステップである半年の学外活動に臨む。この“オフキャンパス教育”の内容も、全て学生主体で進められていくのが基本だ。

「各学生の派遣先は、その学生の将来の希望などを聞いて、キャリアパスに沿った受け入れ機関を相談しながら決めていきます。AGL専属のオフキャンパス教育コーディネーターが派遣先を紹介することもあります。学生自身が強い希望をもって、企業や研究機関と自ら交渉をしてくる場合もあります」

学生の派遣先は実にさまざま。国内の企業に長期インターンシップのような形で所属する学生や、他大学の研究機関の一員となる学生もいる。約4割の学生は、海外へと飛び出す。なかには、アメリカのベンチャーファンドへの派遣を希望する例もある。学生はどのような企業・研究機関に入った場合でも、実際のプロジェクトや研究活動に参加し、結果・結論を出してることが必須課題だ。

「ドイツのベルリン自由大学で『ドイツと日本の環境政策決定方法の違い』について学びに行った学生もいます。実際に現地に行くと、日本からは見えにくいドイツの環境政策の実情や問題点なども分かり、非常におもしろいですよ」

ちなみに派遣先に海外を選択した場合、現地で必要になる語学力のスキルアップも、学生本人の責任で行わなければならない。

「AGLには“世界で活躍できる人材の育成”という目的がありますが、そのために必要となる語学は単なる“ツール”です。非正課科目で若干の語学クラスは開講していますが、基本的に『語学スキル、コミュニケーションスキルは自分で磨け』というスタンスです」

学生は、派遣に向けた語学力の向上、派遣先での研修計画や滞在先の確保など、オフキャンパス教育に必要な準備をすべて自己責任で行うことになる。



## リーダーに必要な品格と信頼は自ら学び取るものです。

「今の学生の特性かもしれませんが、専門分野の読み書きはできても、コミュニケーションとなるとなかなか自信を持って踏み出せない傾向があるように思います。AGLの学生は、実際に現地で場数や経験を積むことで、学力・コミュニケーション力両方の語学スキルを身につけていきます」

## 国際会議で磨いたコミュニケーション力

意外にも、自身は長期の海外留学経験はないという佐藤教育院長。実際に国際的知見や英語力は、多数の国際会議で実地経験を積むことで養っていった。

「機会を捕まえては、指導教員について海外に行っていました。一番初めの国際会議はデンバー。初の海外でもありましたから、右も左も分からずに『話せば分かる』『何とかなる』という体当たりのコミュニケーション方法でした。その会議の帰り際、指導教員が気を遣ったのか『サンフランシスコでも寄って見聞を広めてこい』と、私は一人、デンバーの空港で放り出されました(笑)。サンフランシスコでは自分で安いホテルを探して、町中をひたすら歩き回って……。結果的に、とても良い経験だったと思います。私も理工分野の出身者だからか、実は語学には苦手意識がありました。今でも得意とは言えません(笑)。それでも場数を踏むうちに、コミュニケーション力は自然に身につけていきました。今でこそ時間がとれなくなりましたが、少し前までは、国際会議には年間4～5回参加していました」

## これからのリーダーに欠かせない要素とは？

AGLでは2014年3月、「グローバル・イノベーションリーダー人材の養成を目指して」と銘打ったシンポジウムを行った。開催の背景には、「AGLの目指す“グローバルリーダー”について、一度ははっきりと定義する」という意図があったという。

「今回のシンポジウムの基調講演では『リーダーシップは教えられるのか？(Can Leadership Be Taught?)』をテーマとし

て取り上げました。結論としては、リーダーシップの素養は教えられるのではなく学び取るものだ、というところに帰結しました」

佐藤教育院長は、“リーダー”に求められる素養として、まず“品格・信頼”を挙げる。

「この『品格を磨く、他人の信頼を得る』というスキルは、誰かに教えられて身につくものではないと考えています。AGLでもそうですが、初めは集団の中で独りで仕切りたがる学生がいても、徐々に『それでは信頼を得られない』ということに気づき、周囲の意見も立てるという“駆け引き”の能力を身につけていく。『どうすれば周囲がついて来てくれるのか』を考えるようになる。この信頼や、周りを惹きつける品格が、まずリーダーに必要な第一の要素ではないでしょうか」

そして佐藤教育院長がもう一つ「リーダーには不可欠」と語るのが、“明確なビジョン”だ。

「理工系の人間の特質と言えますが、目の前に立つ障害を順番に乗り越え、克服していく地道な作業は得意なんです。しかし、いきなり遠い中空を指して『あそこを目指したい』と思い描くことは不慣れで、不得意な傾向があります(笑)。しかしリーダーには、柔軟な思考で明確なビジョンを描き、グループをその方向に導いていく能力が不可欠です。AGLの学生には道場やオフキャンパス教育を通して、『具体的なビジョンを提示できる能力』も磨いてもらいたいと思っています」

## 目指すは究極の教養教育 これからのAGL

現在4年目を迎え、一橋大学の学生と合わせて約60人が在籍するAGL。今年度末には、初めての修了生が輩出される予定だ。それぞれの卒業後のビジョンは実に多種多様である。

「『最先端研究の場で、自分の力を試したい』という学生もいれば、『自分で会社を起こしたい』という学生もいます。学生の専門は理工学の方が多いですが、キャリアプランはその枠にとらわれず、非常に幅広い範囲にわたっています」

また、共同でグループワークやプロジェクトを成し遂げた学生同士の結束は、非常に強い。将来はお互いにAGL時代の人脈を生か

して活躍の場を広げてほしい、と佐藤教育院長は語る。

今後はAGLのプログラム自体も、さらに発展させていくという。

「AGLの目的は、言い方を変えると、“究極の教養教育の提供”になるのではないかと考えています。ですから将来的には、AGLのプログラム内容を東京工業大学の教養教育の一環として組み込んでいければと思います」

東京工業大学の掲げる「教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育」(学部4年生まで教養教育科目を継続させる、教養重視の方針)も、この佐藤教育院長の展望と一致する。

「教養、すなわちリベラルアーツの重要性は、大学教育の場でもっときちんと認識されるべきだと考えています。東京工業大学でもこれまで学部までだった教養教育を大学院まで延長しよう、という計画が具体化されようとしています」

ちなみに本来の“リベラルアーツ(=自由になるための技)”は、奴隷制が存在していた当時の『拘束される奴隷の状態から自由にあるための技術』が発端と言われています。現代に置き換えて言うと、『学生が“専門”という頸木から自由になるための学問』ということになるでしょうか。つまり、大学院、特に博士課程の高度な専門分野を学ぶ学生ほど、より高いレベルのリベラルアーツ(=高度教養教育)が必要になると言えるのです。AGLでは今後も、専門分野にとらわれない能力養成を行っていきます。

そして、将来的な希望となりますが、もっと大学間連携の枠を広げたいと考えています。例えば他大学で行っているリーディング大学院プログラムと連携して、『専門分野は所属大学で勉強し、高度教養教育や新しいプログラムを共同でやりましょう』といった提案をしたい。そのような、大学の枠を超えた連携の輪を広げられれば、理想的ですね」

昨今、盛んに取り沙汰されている“リベラルアーツ重視”の流れを牽引する大学院として、AGLは今後も進化を続けていく。

最後に、将来のグローバルリーダーたちに向けて、エールの言葉をいただいた。

「自分の好きなことや専門分野を突き詰めることは、第一のステップとして非常に大切だと言えるでしょう。しかし同時に、周りの人々とのインタラクションやコネクションを意識してつくっていくということも、とても重要です。大学生や大学院生は、どうしても自分の専門やテリトリーが固定されてしまう分、視野も狭くなってしまいがちです。その殻を破れる、意識や気概といったものを常に持ち続けてほしいと思います」

AGLにかける静かな熱意を、終始真摯に語って下さった佐藤教育院長。写真撮影にあたって凛と背を伸ばし、カメラに向かうその姿に、“品格あるリーダー”のあるべき姿を見た。(英検グローバルリーダー研究グループ

西畑瑠衣子)

### 佐藤 勲 (さとう いさお)

1958年東京都出身。81年東京工業大学工学部卒。83年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。84年同研究科博士課程退学。同年から東京工業大学助手、助教授を経て、2000年から教授。専門は熱工学。2011年にグローバルリーダー教育院長に就任。



# 私の米国留学

## アメリカ留学もIELTSの時代へ

～IELTSはアメリカの約3,000の大学・プログラムで認定されています～



## 多様な分野の知見に触れて 学問的視野が広がった

### インディアナ大学で 民族音楽学を専攻

日本の大学でスワヒリ語や東アフリカの社会・音楽について学んだのち、民族音楽学を本格的に学んで日本で発展させたいと思い、アメリカの大学の修士課程への留学を決意しました。留学先はインディアナ州ブルーミントン市にあるインディアナ大学です。ここは人口8万人のうち学生が半分を占める学園都市で、世界各国の伝統音楽家を招待するフェスティバルが開かれるなど、文化の多様性を尊重する行事が数多くあります。

同大は、民族音楽学において長い歴史と伝統を持つことで知られており、「音楽とジェンダー」といった社会的な視点を持つ研究に従事する教授も多数います。私は1年目に民族音楽学の概論、理論的変遷と民族誌的調査の方法を学び、夏季休暇中にはタンザニアとケニアに調査に行き、日本の大学院生だった頃に滞在した村で、儀礼や歌の研究を行いました。

日本にいたときは、民族音楽・アフリカ研究はごくマイナーな分野でしたが、ここでは大勢の教授や学生とともに学ぶことができ、

大変励みになっています。規模の大きい学校であるため、多様な分野の授業をとることができるのも魅力です。私は公共政策大学院でNPOの設立とマネジメントを学び、学問的視野を広げることができました。

### 批判的な視点で 論文を読む大切さ

最初の1年は、論文を批判的な立場から読むということと、自分の意見を英語で記述することに苦しみました。日本では文章を批判的に読むという態度を学ぶことがなく、また人種・階級・ジェンダーといった視点を考慮に入れることもあまりありませんでした。批判的な視点を持つことは、先行研究を進展させ、自分の研究に生かすために、重要な課

民謡のコンサートでは尺八を演奏した。



多くの日本人学生が、未来に大きな夢を描き、アメリカの大学や大学院に留学している。彼らはどのような生活を送り、どのようなことを学んだのだろうか。その十人十色の体験談は留学を考える読者のみなさんに、たくさんのヒントと勇気を与えてくれるだろう。

本コラムは以下の2団体の協力により連載しています。  
●JGSAU (米国大学院学生会) <http://gakuiryugaku.net/>  
●USCANJ (アメリカ学部卒業生ネットワーク) <http://www.uscanj.net/>

題であると考えています。

### 音楽グループをつくり 日本の民謡を演奏

現在は民族音楽学学科に在籍して3年目となり、ポピュラー音楽の授業で扱ったジェンダー研究を基に、日本のアイドルに関する論考などを書いています。

GA (Graduate Assistant= 大学院生助手) として大学の史料館での仕事をしているため、朝仕事をした後に授業に出て、午後また仕事に戻るといった日もあります。夜はたいてい遅くまで図書館で勉強しています。

学外では、友人とグループを組み、近隣の小学校やファーマーズ・マーケットなどで日本の民謡を演奏しています。私は尺八の担当です。地域の人との交流の機会を持つことで多くの経験を重ね、留学生活をさらに意義あるものにすることができると感じています。

インディアナ大学の美しいキャンパス。



インディアナ大学ブルーミントン校  
米津昌知さん

大阪外国語大学卒業、広島市立大学修士課程(国際学研究科)修了。英語塾講師を経て、2012年にインディアナ大学修士課程に入学、14年に修了し、博士課程へ。専攻は民俗学/民族音楽学。



#### 米津さんに一問一答!

**Q 留学して成長したと思うことは?**  
もとは研究者になることを考えていましたが、スミソニアン博物館の音楽祭でスワヒリ語通訳として働くインターンシップを通し、東アフリカで文化遺産保護を行うなど、国際機関での就職を視野に入れるようになりました。

**Q 実りある留学にするための秘訣は?**  
学業はもちろんのこと、社会的であること。また、地域の行事に参加して大学外のコミュニティで働く人々の姿を見るなど、大学と大学がある街を成り立たせている多様な社会的・文化的取り組みを実感することが大事です。

**Q 留学を目指す読者にアドバイスを**  
相対する意見に接したときに、安易にどちらかを選択するのではなく、どうしてその対立が生じているのか自問してください。これが多様性を尊重する態度につながり、留学生活では否が応にも必要となります。



## 体験しなければ分からない 日々、人としての成長を実感

### じっくり専攻を絞れる 幅広い選択肢が魅力

中学3年生のときに、初めて英語のディベート大会に出場しました。ディベートのルールもよく分からないなか、一緒に組んだ高校生の先輩がちょうどアメリカのプリンストン大学に進学するところで、海外の大学とはどういうものか、留学して何がしたいか、いろいろと教えてくれました。その希望に満ちた様子にとっても憧れ、自分でも留学を考えるようになったのです。

日本では進学となると「理系・文系」という枠組みのなかで考えることになりましたが、アメリカではもっと選択肢が自由で、また進学してから専攻を考えることもできます。私は今、心理学を検討していますが、「専攻を絞るのが大変なのは当たり前、いろいろ勉強をして、自分を試してみてもいい」というアカデミックアド

バイザーらの言葉に励まされ、「自由に考える」ことを心がけています。

### 相談に乗ってくれる 熱心な教授陣

教授は皆とても熱心で、授業で学んだことについて質問があるとき、エッセイにつまったとき、快く相談に乗ってくれます。どんなに忙しくても、5分、10分といった単位で必ず時間を割いてくれるのです。

学内には勉強できるスペースが多く設けられ、最近では、美術館の横にあるガラス張りの図書館で、キャンパスの風景を眺めながら勉

ルームメイトとキャンパスにて。 インドから来た友人と一緒に。



強するのが気に入っています。

留学して今一番苦労しているのは、時間の使い方です。とにかく宿題がたくさんあり、いつ勉強をしていつ息抜きをするのか、自分のなかでははっきり決めるのが難しいのです。学内にはイベントやアクティビティがたくさんあるので、これからもう少し余裕ができたなら、イベントにも参加できるようにしたいと思っています。

### 心理学と演劇に 共通するものを見出す

日本の中学、高校で演劇をやっていた、一度授業として学んでみたいと思ったので、プリンストンで履修してみました。そこで思ったのは、私がやりたいと思っていた心理学と演劇には共通するところがあるということです。演技には心理学と結びつくことがありますが、心理学の授業で、演劇に役立つことも見つけられます。結局、自分の興味は根本的なところでつながっているのだということが分かりました。

今の時点では将来のことは決まっていませんが、アメリカに来て実感したのは、やはり体験してみないと分からないことが多いこと、異なる国で、人として成長できるということ。今はここでもっと多くのことを経験してみたいと思っています。

プリンストン大学  
深津ありさん

アメリカで生まれ、3歳のときに日本へ。小・中・高は日本の一般の学校で学び、進学先としてアメリカのプリンストン大学を選ぶ。2014年9月より同大で学び、専攻は心理学を検討中。



#### 深津さんに一問一答!

**Q 留学して成長したと思うことは?**  
自分で考えて自分で決める力がついたこと。授業は何を取るか、ペーパーは何を書くか、人に相談する前に、まずは自分で考えなければなりません。普段も面倒を見てくれる親がいるわけではなく、自立したと感じます。

**Q 実りある留学にするための秘訣は?**  
自分の選択についてきちんと考えること。自分はどういう力をつけたいかを考えて、どんな留学をするか、授業・課外活動はどう選ぶかを検討します。そして、今の経験が自分にどう役立っているかを考えることも大切です。

**Q 留学を目指す読者にアドバイスを**  
海外の大学を受験したことは、私にとっては単に大学に出願するという意味だけでなく、とても難しい経験になりました。18年間がんばってきたことを大学が評価してくれたことで自信が付き、自分の力で自分の人生を意義あるものにできたと感じています。



グローバル教育に挑む大学

## 芝浦工業大学

「芝浦モデル」が目指す  
世界に貢献する理工系人材

1927年の創立以来、実学主義を貫き、社会に貢献する理工系人材を育成してきた芝浦工業大学。平成26年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に、私立理工系大学で唯一採択され、グローバル戦略は一気に加速化することになった。

理工系学生の進路は  
広く世界へと続く

理工系の学生が、将来、英語を使う状況で仕事をするようになる可能性は、実は文系の学生以上に高いといわれている。ODAや民間の技術提携などが活発に進むなか、海外に出て働く日本の若きエンジニアは、間違いなく増えていくだろう。

外国の地に新幹線を走らせる。橋やダムや空港や町を作る——。日本人エンジニアが関わるプロジェクトは、今この瞬間にも世界中で展開している。エネルギー、食糧、環境、貧困、保健衛生といった人類共通の課題についても、日本の研究者、科学者、技術者の貢献に、国際社会から熱い期待が寄せられている。

卒業後の進路は世界へと続いている。「そのことを理工系の学生こそ早い段階で自覚してもらいたい」と、芝浦工業大学の丁龍鎮部長（国際部）は言う。

「理工系の世界ではそれがリアリティだからです。モノづくりそのものが、海外市場を視野に入れなくては立ち行かない時代です。一般的な日本企業にエンジニアとして就職しても、あるいはずっと国内勤務だったとしても、マニュアルや情報を英語で共有したり、海外のクライアントと直接やり取りしたりすることくらい、少しも珍しくありません。理系の学生のなかには、英語が苦手という人もいますが、グローバル人材というのは、まさに理工系でこそ求められているのです」

こうした背景のもと、芝浦工業大学は私立の理工系大学として唯一、平成26年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された。丁部長率いる国際部を牽引役に、理工系グローバル人材の育成に向けた取り組みが力強く動き出したところだ。

理工系グローバル人材育成  
「芝浦モデル」の3本柱

「グローバル人材を育てる取り組みにおいて、大学の独善や、社会の実態とかけ離れた思い込みは要注意です」と、丁部長は言葉を続ける。

「社会の要請や企業ニーズをしっかりと理解し、それに即した人材育成を考えることが最も重要です。産官学ががっちりスクラムを組み、教職学共働で真に必要なとされている理工系人材を社会に送り出すことだと思っています」

この考えに基づき構築されているのが、芝浦工業大学のグローバル人材育成モデル、通称「芝浦モデル」である。①学修・教育双方の質を保证する「価値共創型教育」、②世界水準の



国際部の丁龍鎮部長

大学制度、③教育・研究・開発コンソーシアムが、「芝浦モデル」を構成する3つの柱だ。

## 1. 学修・教育双方の質を保证する「価値共創型教育」と、実践型技術者の育成

教員と学生がともに創り上げる「価値共創型教育」の実施。PDCAサイクルを導入し、「教育＝教員が何をどう教えるか」と「学修＝学生が何を学ぶか」の両面について、質の充実を図っていく。PDCAとは、Plan-Do-Check-Actの略。計画・実行・評価・改善の循環が、教育・学習のパフォーマンスの継続的な見直しと改善を可能にするとのこと。次のようなPDCAサイクルを実践する。

- P** 教員による学習・教育目標の設定  
**D** グローバルPBL（問題解決型学習）、海外インターンシップなど、アクティブラーニングを取り入れた学習  
**C** 学習達成度の客観的評価基準「Rubric＝ルーブリック」と、社会人基礎力テスト「PROG＝Progress Report on Generic Skills」の導入  
**A** 評価結果のフィードバックによる改善

教員は「教育」を行う立場から、学生は「学修」する立場から、それぞれにPDCAサイクルに関わり、教学の質の保証を効率的かつ確実に実現する。

また、日本ならではの特質や強みを積極的に評価し、「日本のものづくり文化を活かす実践型技術教育」を柱のひとつに据えている。学生は、日本のものづくり文化、技術倫理、リーダーシップ・フォロワーシップについて学び、日本企業でのインターンシップや研究プロジェクトを通じては、多様な仲間と「同じ釜の飯を食う」経験もすることになる。

## 2. 世界水準の大学制度の実現

10年後の目標は、アジアの工科大トップ10へのランクイン。その実現のためにも、以下のグローバル化を推進する。

- 受入れ留学生数を、全学生の30%にまで拡大
- 長期短期を問わず、全学生に海外留学を
- 英語だけで卒業できるコースの設置
- 英語で開講する科目を600科目に

「学生・教職員ともに多様な人々が集まって、切磋琢磨する環境を整備したい」と丁部長。世界に開放された柔軟な大学として、海外大学との間でダブルディグリーやジョイントディグリーを取得する道も、順次広がっていくもようだ。

## 3. 教育・研究・開発コンソーシアムの構築

「芝浦モデル」の3つ目の柱は、国内の大学、海外の大学、海外の企業を中心としたコンソーシアム（GTI）である。

「まず本学が中心となって、日本の理工系大学のグループを作り、海外の大学のグループと連携します。タイの泰日工業大学、マレーシアのマレーシア日本国際工科院、エジプト日本科学技術大学、インド情報技術大学など

は、いずれも日本との関係が深い大学ですし、日本トルコ科学技術大学構想も始まろうとしています。これらの大学は、日本型の教育に関心が高いばかりか、約束や時間を守る、勤勉を美德とするといった日本的な倫理や行動規範も、教育の一環として考えている。

ここに在外日系企業や海外企業を加え、研究連携や産学連携のプロジェクト、海外インターンシップ、グローバルPBL、教職員の相互派遣・交換など、多様な活動を展開していく予定です」（丁部長）

学生時代に身につけたい  
4つの能力とは？

「芝浦モデル」の概要は分かったが、ではこのモデルを通して、芝浦工業大学はどのような人材を育成しようとしているのだろうか？

「本学では、コミュニケーション能力、問題発見解決能力、メタナショナル能力、技術経営能力という4つの能力を兼ね備えた人材を、グローバル人材と定義しています」

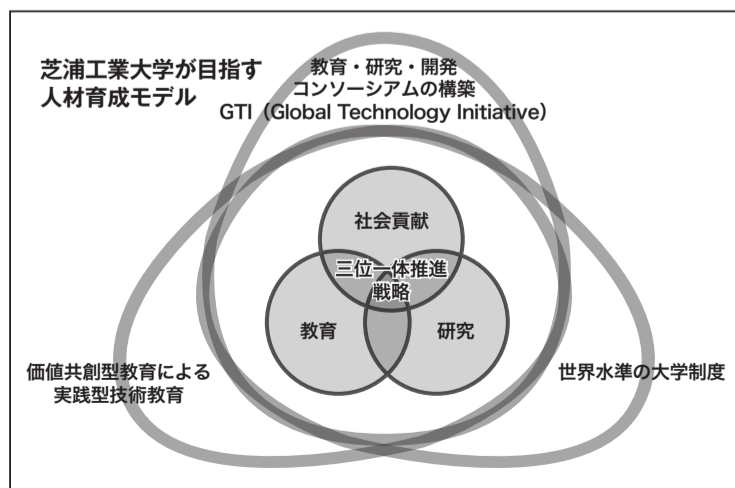
そう語る丁部長の解説とともに、4つの能力を見てみよう。

## 第一の能力：コミュニケーション能力

専門分野に関して、海外の学生と英語でディスカッションをしたり、意思の疎通を図りながら協働したりする力。

「今やネイティブスピーカーではない英語人口が増加し、非英語圏の人同士が英語で意見交換をする機会も少なくありません。ネイティブスピーカーのように英語が話せなくてもかまわないのです。発音などに時間をかけるより、ツールとして使える英語を身につけることが大事だと、本学では考えます」

英語のコミュニケーション力向上にむけ、「芝浦モデル」では、長期短期を問わず海外留学を奨励。平成35年には学生100%が留学を経験することを目指している。



留学生も研究室に配属され、一緒に研究を進める。





国際学生寮は日本人学生と留学生の文化交流の場。季節ごとにイベントも開催される。

**第二の能力：問題発見解決能力**

文字通り、自ら問題を発見し解決する力。この力を効果的に磨くのが、Problem Based Learning (PBL)だ。あらかじめテーマを決め、課題を解決するために調べたり、実験したり、論理展開したりして進める学習で、海外で行うものをグローバルPBLと呼んでいる。

「PBLは、アクティブ・ラーニング（能動

学習）の一種で、その最たるものが卒業研究・卒業論文です。本学ではこのPBL型の学習を、積極的にカリキュラムに取り込んでいきます。海外の学生と取り組むグローバルPBLに参加した本学の学生は、平成25年には127人でしたが、平成35年には650人前後にまで伸ばしたいですね」

**第三の能力：メタナショナル**

自分の国や自分自身のアイデンティティを

基盤に、異文化を理解し、グローバルな視点で発想し行動する力。

「メタ (meta) とはビヨンド (beyond) という意味です。自らのアイデンティティに立脚しながらも、より広い視野で社会的価値を創造する力を身につけるには、留学などの海外体験も役に立つでしょう」

**第四の能力：技術経営能力**

技術開発に伴う社会的価値、経済的価値をマネジメントする力。

「これからの理工系の学生には、ビジネスセンスも必要です。優れた製品を作れば放っておいても売れるという時代ではありません。世界の市場にどうアプローチするか、インターシップやPBLといった機会を使って、ビジネスセンスを磨いてもらいたいです」

**グローバル化で変わることを変わらないこと**

スーパーグローバル大学 (SGU) に採択

されて間もなく、丁部長は職員を集めた研修の際、SGUとは何かを一人ひとりに考えてほしい、グローバル化の具体的な取り組みを、各部署、各人に引きつけて考えてほしいと訴え、職員の意識改革に努めたという。「大学のグローバル化は職員の手にかかっており、その成功は教職員の成長とともにある」と、確信しているからだ。

「スーパーグローバル大学創成支援というのは、グローバル化を切り口にした大学改革なのです。本学が10年後に世界に通用する大学となっているためには、今、何をどう変えるべきかを真剣に考え実行する必要があります」

反面、どんなにグローバルを標榜しても、英語がとび抜けてできないと入れないといった大学には、これから先もならないでしょう。私たちは、入学してきた学生を4年間かけて大きく伸ばす大学、誰もが入学後に成長できる大学であり続けたいと思っているのです」

**芝浦工業大学**

1927年に前身となる東京高等工商学校を設立。「社会に学び社会に貢献する実践的技術者の育成」を建学の理念とし、工学分野だけでなく理学やデザイン分野にも教育・研究のフィールドを広げ、社会の要請に応える人材を育成する。豊洲、芝浦、大宮にキャンパスを持ち、平成25年には大宮キャンパスに国際学生寮が完成した。

**世界基準のビジネス英語能力テスト**

**BULATS**

The Business Language Testing Service

**日本でも約400の企業・団体が採用!**

- 三井物産 ●住友商事 ●三菱重工業 ●商船三井 ●メリルリンチ ●日立製作所 ●ユニリーバ・ジャパン ●イーザイ ●日本電気 ●富士通 ●伊藤忠テクノソリューションズ ●ヒルトンホテル ●旭硝子 ●横河電機 ●リクルートホールディングス ●毎日コミュニケーションズ ●日産ディーゼル工業 ●長瀬産業 ●オリジン電気 ●サントリー ●PFU ●富士通オートメーション ●富士通ラーニングメディア ●ヤンマー ●シェンコーポレーションジャパン ●JAC Japan ●カネカ ●ブリティッシュ・カウンシル ●マースク ●佐川グローバルロジスティクス ●日本テキサス・インスツルメンツ ●マーレエンジンコンポーネンツジャパン ●ニフコ ●ユーロクリア・バンク ●ネスレ日本 ●全日空商事 ●大日本住友製薬 ●バイオ・ラッドラボラトリーズ ●ジャパンフード ●アマゾンジャパン ●アイ・アム ●早稲田大学理工学部 ●広島大学 ●熊本大学 ●京都大学 ●神戸大学ESS 他多数

**世界と繋がるために**

Are you sure your message is getting through?

**BULATS**  
Fast, reliable,  
and global

**Standard Test**

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

**Computer Test**

リスニング/リーディング/語彙問題

¥ 2,900 (税込み)

**Speaking Test**

ネイティブ試験官との対面式

¥ 6,900 (税込み)

**Writing Test**

記述式

¥ 3,900 (税込み)

詳細は

<http://www.eiken.or.jp/bulats/>

お問い合わせは

Tel : 03-3266-6366 Email : stepbulats@eiken.or.jp



UNIVERSITY of CAMBRIDGE  
ESOL Examinations

BULATS(ブラッツ)は、公益財団法人日本英語検定協会と英国ケンブリッジ大学の語学試験機関であるケンブリッジ英語検定機構が共同開発したテストサービスです。





Vol.28 by Shusuke Murai

# 英字新聞記者の視点

## 日本のニュースを英語で発信しよう

日本で起こっていることを外国人に伝えるときは、物事の背景を理解し、わかりやすく説明するスキルが求められる。英字新聞 The Japan Times の記者に、日本の「今」を世界に伝えるためのコツを教えてください。

Topic 01

### 日本人は「おもてなし」が得意？

Japan's self-professed "omotenashi" (spirit of selfless hospitality) is often misinterpreted to force predetermined services on foreign visitors, says one longtime observer.

日本が自ら言うところの「おもてなし」（無欲のホスピタリティ精神）は、しばしば誤った解釈となり、外国からの訪問者にあらかじめ決められたサービスを押しつけている、と（日本の）長年のオブザーバーは語る。

#### 実は間違いが多い 英語で書かれた標識

2020年の東京オリンピック招致にあたり、国際オリンピック委員会のプレゼンテーションで、滝川クリステルさんが「おもてなし」スピーチをしました。それ以来すっかり、「日本はおもてなしを得意とする国である」という認識が、日本人の間で広まっているようです。そんな日本にも弱点がある、ということについて語った『日本のイギリス人アナリスト 日本の国宝を守る』という本に出会い、著者のデービッド・アトキンソンさんにインタビューをお願いしました。

デービッド・アトキンソンさんは、イギリスのオクスフォード大学で日本について学んだ後、来日してゴールドマン・サックス証券会社でアナリストとして活躍、20年以上の滞在経験を持ち、日本語を流暢に話します。

元々日本の文化に関心があったことから、現在は文化財の修復を手がける小西美術工芸社という会社の経営者を務めています。

アトキンソンさんは、「おもてなしとは本来、お客様が求めるものを与えようとするサービスですが、日本では、外国人観光客に自分たちがよいと思う日本のイメージを押しつけているのではないかと」言います。

「日本人は例えば、街がきれいで安全である、公共交通機関が時間に正確であるといったことを自慢しますが、それは生活者からの視点で、外国人観光客にとっての最優先事項というわけではありません」

アトキンソンさんは、日本には英語で書かれた標識が少なく、しかもそれがしばしば、ネイティブスピーカーのチェックを受けていない、誤った英語であることを指摘しています。また、土産物店に行くとききれいな皿がたくさん売られていますが、その多くはサイ

今月の記者 村井秀輔さん

2014年ジャパンタイムズ入社。ニューヨーク大学大学院でメディア学を専攻、在日外国人インタビュー、経済・社会問題の取材を手がける。



「おもてなし」について語る  
デービッド・アトキンソンさん / Satoko Kawasaki

ズが小さく、欧米の外国人のライフスタイルに合わないのです。

#### 派手な演出よりも 丁寧な背景説明を

「外国人観光客が増えてきたとは言いますが、日本が年間1,300万人ほどであるのに対

し、フランスは8,300万人います。しかも、今は日本が物珍しくてやってくる観光客が多くを占め、日本の文化や自然に本当に興味があってやってくる人は、ほんの300～400万人程度なのではないでしょうか」

例えば、文化財修復を手がける立場として、京都の平等院鳳凰堂の修復に時間がかかり、つい最近まで公開中止となっていたことは、大きな機会損失なのではないかと考えているようです。

「日本の紹介をするにあたり、3Dで派手な演出をするのではなく、博物館やお寺に歴史的背景を丁寧に説明した説明板を設置するといったことで、もっと日本のファンを増やすことができるはずですよ」

茶道のおもてなし精神にひかれて文化財の仕事始めるよう

になったアトキンソンさん。その話しぶりから、日本に愛情を持ち、日本社会をよりよくする方法を真剣に考えてくれているのだということが伝わってきました。

\*参考記事

<http://www.japantimes.co.jp/news/2014/12/25/national/now-boastful-japan-really-tune-visitors-want-foreign-expert-warns/#.VLnGcdLz31Z>

Topic 02

### 異物混入事件で大切な危機管理

In Japanese culture, making an apology is considered a significant social skill, but no matter how well-chosen the words are or how low the bow is, it might not be enough to survive the tough world of business.

日本の文化では、謝罪することは重要な社会的スキルと考えられているが、どんなに言葉を選び、低くおじぎをしても、タフなビジネスの世界を生き残るには十分ではないかもしれない。

#### 記者会見の対応が 問題をさらに大きく

マクドナルドのフライドポテトやチキンナゲットにビニール片や人の歯が混入、また、まるか食品のカップ入りソース焼きそばからはゴキブリのような虫が発見されるなど、昨年末から食品の異物混入事件が相次ぎました。

衛生管理を徹底しなければならないことはもちろんですが、今回は、問題が発覚した後の企業の対応の不備によって、さらに問題を大きくすることになってしまったようです。

異物混入の発覚後、マクドナルドは記者会見を開きました。世間の大きな注目が集まっていたことから、大勢の記者が詰めかけましたが、あいにく十分な説明が行われた会見

とはなりません。謝罪はありましたが、異物混入の経緯は明らかではなく、今後具体的にどのような対策を取るかということも、説明されなかったのです。「消費者が求めているのは、大企業の幹部が公衆の面前で頭を下げるのを見ることではなく、食品の安全性をどう高めるかという説明を聞くことだったはずですよ」と、CRS (=Corporate Social Responsibility、企業の社会責任)のコンサルタント、安藤光展さんは語っています。

マクドナルドが過去の異物混入事件を「個別案件」として処理し、メディアの指摘があるまで、公表していなかったことも問題となりました。

#### ツイッターへの投稿で 問題が明るみに

まるか食品の「ベヤングソースやきそば」の場合、やきそばの中にゴキブリらしき虫を発見した大学生がツイッターにその写真を投稿したことから、問題が明らかになりました。

企業はその大学生に写真を削除してくれるよう直接依頼したのですが、大学生がその経緯もツイッターに投稿、さらに注目を集めることになってしまいました。

以前は、消費者とのトラブルは1対1で解決するという対処法が有効だったのかもしれませんが、今は、ツイッターやFacebookのようなSNS（ソーシャルネットワーキングサイト）によって、消費者の誰もが自分の発見した問題を広く発信できるようになっています。

「真実を告発すれば、他の消費者が同じような被害にあうのを防ぐことができます。こういったSNS上の告発に対応するのが面倒だと考える企業は、生き残るのが難しくなってくるかもしれません」

企業の危機管理の専門家である株式会社リスク・ヘッジ代表取締役、田中辰巳さんは、そう語ってくれました。

\*参考記事

<http://www.japantimes.co.jp/news/2015/01/09/national/a-shadow-falls-on-the-golden-arches/#.VLnWTNLz31Y>





This month's selections from The Japan Times

～ 英文記事を読んでみよう～

## Families, acquaintances dismayed by latest video of Japanese hostage

KAZUAKI NAGATA,  
SATOKO KAWASAKI,  
AND TOMOHIRO OSAKI  
STAFF WRITERS

Shock and confusion Sunday overwhelmed the families and acquaintances of the two Japanese men held captive by the Islamic State group as a new video showed a still image of hostage Kenji Goto holding a picture of what appears to be the decapitated corpse of fellow captive Haruna Yukawa.

Yukawa's 74-year-old father, Shoichi, told the media Sunday he was still holding out hope that his son is still alive and that he will give him a hug if he ever sees him again.

"My mind went totally blank," he said at his home in the city of Chiba. "I cannot find any other words."

He said he received a phone call from the Foreign Ministry around midnight Saturday telling him his son, a 42-year-old private security contractor who has been held since August, appeared to have been killed, though it could not be confirmed.

"I hope it is not my son, but I just feel awful," he said, his voice trembling.

Meanwhile, Junko Ishido, 78, the mother of Goto, a 47-year-old freelance journalist who went missing in mid-October after entering Syria through Turkey, told reporters at her home in Koganei, western Tokyo, that her son "looks to be under a lot of psychological pressure."

"He looked like he had lost weight (compared with the first video)," she said. "I felt his expression has changed. He looks tense, and I think he is under a lot of psychological pressure."

Ishido said she appreciates all of the ongoing efforts to save her son, adding that "all I can do at the moment is to wait" for good news.

"Praying (for Goto's safe return) is all we can do, and I am praying with members of the church," said Hiroshi Tamura, pastor of the Chofu Church of the United Church of Christ in Japan. Until March 2013, Tamura had been pastor of the Denenchofu Church of the United Church of Christ, which Goto attended.

Naomi Toyoda, a photojournalist who worked with Goto in Jordan in 1996, said he also was pained by Goto's exhausted appearance.

"Counting from the time the first video of him was released (Tuesday), around 100 hours have passed, but he looks as though he has aged five years," he said. "I feel terrible, wondering what a sense of terror he must be going through."

Toyoda, a member of the Japan Visual Journalist Association, said the group is planning to release a statement calling for a "nonviolent solution," appealing not only to the extremists but the government as well.

Toyoda said the extremists may have read a statement the journalism group is-



Shoichi Yukawa, the father of Haruna Yukawa, speaks to the media Sunday at his home in the city of Chiba. KYODO

sued on its website in Japanese, Arabic and English on Tuesday, the day the crisis erupted. It emphasized its neutral stance on covering wars, saying its members "have been criticizing all forms of violence," as well as "the Abe administration's current policies that affirm war."

The group also said Goto is "one of the very few journalists who has reported on TV and via the Internet on the suffering of civilians in Iraq and Syria."

In the new video, a man identified as "Kenji Goto Jogo" could be heard saying in English, "Please don't let Abe do the same (as what happened to Yukawa) for my case. Don't give up. You, along with our family, friends and my colleagues in the independent press must continue to pressure our government."

Toyoda said the phrase "independent press" — which is the name of Goto's one-man office in Tokyo — may have referred to independent journalists in Japan, or the JVJA, and that as long as there is a chance the group's message is heard by the captors, it's worth trying to

convince them not to harm their captive.

Meanwhile, Kosuke Tsuneoka, a converted Muslim and freelance journalist with links to the Islamic State group, said Yukawa's execution, if true, is "extremely disappointing."

Tsuneoka said an Islamic State commander asked him to serve as a witness to its "trial" of Yukawa under Islamic law following his capture in August, as the hostage couldn't speak English or Arabic.

He said he went to the Mideast in September but failed to see Yukawa, and was preparing to go again in October to work for his release.

But Tsuneoka said his departure was thwarted by Tokyo police, who accused him of helping a student who wanted to join the extremist group and confiscated all of his contact information.

"His life could have been saved," Tsuneoka said. "The tragedy that befell Yukawa was predictable from the very start. That's why I was taking all these steps (to save him)."

(Jan. 25, 2015)

Information from Kyodo added

## Mystery deaths afflicting tuna at Tokyo aquarium

SHUSUKE MURAI  
STAFF WRITER

A Tokyo aquarium known for its tuna breeding program is facing a crisis: the unexplained deaths of its main exhibits.

Seven weeks ago, the Tokyo Sea Life Park had 165 bluefin tuna, kawakawa and striped bonito on display. On Monday it had just 11.

Takashi Sugino, a manager with the center's breeding program, first realized in early December that the fish in a 30-meter doughnut-shaped tank were ailing.

The aquarium in Edogawa Ward has been unable to determine the cause of death, despite using computers to monitor possible changes in the environment where the fish died, Sugino said.

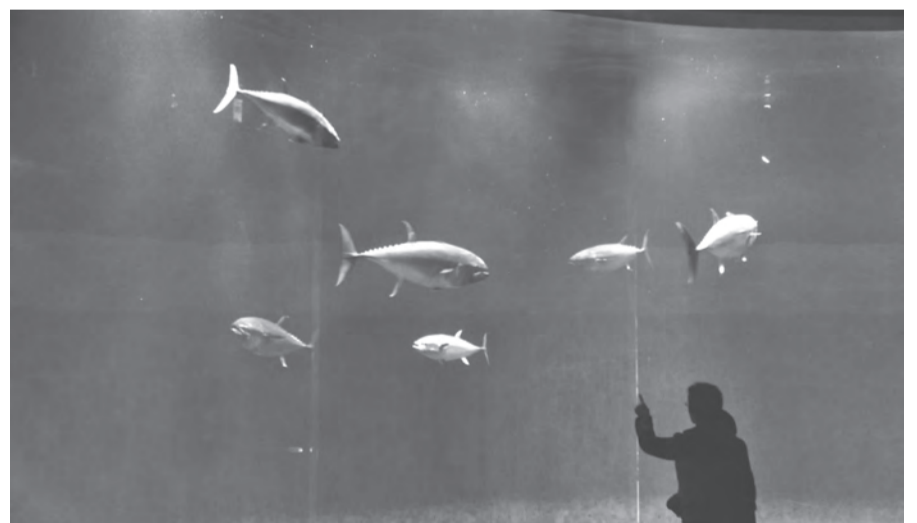
One third-party observer said such rapid mortality in the entire population was "unprecedented." Keiichi Mushiake, a director of the Research Center for

Tuna Aquaculture at the Seikai National Fisheries Research Institute, said he had never heard of similar cases elsewhere. Although fish may die from disease or human error, those causes are unlikely at such a reputable aquarium.

The center is known for its breeding of bluefin tuna, a species listed as being under threat of extinction. In 1989, the aquarium became the first in the world to show bluefin tuna swimming in their natural conditions.

Breeding tuna is difficult. Even the slightest change of environment, such as unusual light levels or a loud noise, can prove fatal to the highly strung fish. Sugino and his team have worked carefully to re-create the natural habitat as much as possible.

There was construction work in another tank at the site in early December, but Mushiake said this was unlikely to be



A man watches bluefin tuna in an aquarium at Tokyo Sea Life Park in Edogawa Ward on Monday. There were just six tunas in the fish tank after five others were moved to another tank earlier in the day. YOSHIKI MIURA

the cause of death because fatalities continued even after construction finished.

In early November, the aquarium added 31 kawakawa, a fish also known as the mackerel tuna, in a routine restocking procedure, one that has taken place regularly over the past 25 years. Nothing out of the ordinary was noticed at that time, Sugino said.

Meanwhile, total extinction is a possibility. The 11 surviving fish are showing signs of unusual behavior, such as nervousness and lack of appetite.

Sugino added that he is sad to see visitors disappointed, because the center's main attraction is supposed to be a tank containing a large school of tuna.

(Jan. 19, 2015)



# 既存の事業領域の枠を超え 新しい価値を生み出す

写真フィルムの国産化を目指してスタートした富士フィルム株式会社は、今や、ヘルスケア、高機能材料と、ダイナミックに事業領域を拡大。変化をおそれず、成長し続ける企業姿勢は、グローバル展開においても存在感を増している。

## 写真フィルムメーカーから 事業構造を大きく転換

2014年、西アフリカを中心に感染が拡大し、いまだ収束の気配を見せない「エボラ出血熱」。そのウイルスに対して治療効果が期待されるとして、昨年12月から抗ウイルス薬「アピガン」のフランスとギニア政府による臨床試験が、現地リベリアとギニアで始められた。世界中の期待を背負う形でわかに脚光を浴びたこの薬の製造元が、「富士フィルム」傘下の富士化学工業であるというニュースが流れた昨年夏、「富士フィルムという会社は医薬品もやっていたのか!」という驚きとともに、その鮮やかな大改革に多くの賞賛が寄せられた。

富士フィルムは1934年、写真や映画フィルムの国産化を使命に創業した。フィルムのベースから写真乳剤に至るまで、独自の研究開発を積み重ねた同社は、写真フィルムメーカーとして順調に業績を伸ばしてきた。2000年当時は、会社の売上の60%、利益の3分の2が写真関連事業によるものだったという。ところがデジタル化の進展によって、写真フィルムの世界需要が2000年をピークに、急激なスピードで大きく縮小してしまう。

「富士フィルムは、その状況を、ピンチではなく会社を大きく変えるチャンスと捉え、先駆的にデジタル化に取り組むとともに、これまで培ってきたコア技術をベースに、積極的に新たな事業に取り組んできました」と、人事部採用グループマネージャーの秋山昇平さんは話す。

「2013年度の実績では、写真フィルムの売上は、富士フィルムホールディングス全体の売上2兆4400億円の1%にも満たない程度です」

会社の屋台骨を支えてきた主要事業がみる

みる縮小していくという危機に直面しながらも、ダイナミックに事業転換を図ってきた同社が、現在特に力を注いでいる事業は2つだ。

◆ヘルスケア……予防、診断、治療の3つの領域をカバーする事業。

◆高機能材料……液晶ディスプレイや太陽電池に使われる機能性フィルムなどの素材事業。

これらに共通しているのは、いずれも写真フィルムで培ってきた技術を活用できる事業という点だ。例えば、写真フィルムというのは実は成分の半分以上がコラーゲンでできており、同社では創業以来このコラーゲンの研究を積み重ねてきた歴史があった。そこで得られた研究成果やノウハウを生かし、ヘルスケア分野における「化粧品や再生医療」という新しい領域の事業をスタートさせることができたのである。

「富士フィルムは創業間もない頃からレントゲン用フィルムを世界中に供給しており、「診断」という領域で健康に関わる事業を展開していました。それに加えて2000年以降に新事業創出に取り組むなかで、「診断」以外の領域にも挑戦したのが、2007年に発売された機能性化粧品『アスタリフト』やサプリメント。これが「予防」という領域での展開です」

そしてもうひとつ「治療」という領域で行った事業展開が、2008年、富士化学工業という製薬会社をM&Aでグループ傘下に迎え、本格的にスタートさせた医薬品事業。冒頭で紹介した抗ウイルス薬「アピガン」は富士化学工業が富士大学医学部と共同開発したもののだが、このニュースは結果的に富士フィルムの製薬事業での展開を全世界的に強烈に印象づけることとなった。医薬品事業においても、



人事部採用グループマネージャーの秋山昇平さん

富士フィルムが培ってきた技術基盤を生かし、低分子医薬品やバイオ医薬品、再生医療の分野で大きな価値を生み出すことを目指している。

## どんな職場・職種でも 海外との関わりは必須

海外展開においては、創業後間もない1938年から輸出という形で海外とのビジネスを始め、現在では生産拠点、販売拠点はもちろん、分野によっては研究開発の拠点も海外に置いている。

売上実績で見ても、昨年はホールディングス全体の58%が海外でのもの。歴史ある写真関連事業をはじめ海外の売上比率が8割を越えている分野もあるとのことだが、今後の成長に向けて重点事業である「ヘルスケア」と「高機能材料」を中心に、ますますグローバル市場でのビジネスの拡大に力を入れてい

るという。

現在、海外の拠点は187。新興国に対して積極的に販売網を広げ、人材も投入しているとのことだ。当然、駐在や出張を含めて海外を相手にした仕事に携わる機会は非常に多く、新入社員の間から日々の業務のなかで海外との関わりを持つことになる。

「文系出身の社員の3割弱くらいが海外での駐在を経験しています。入社後、最初に配属された部署である程度経験を積み、次の異動で海外に赴任するというパターンが最速ですね。入社から4-5年目で海外駐在に、という例も増えています。富士フィルムに入社した後は、どんな事業でもどんな職種でも、海外と関わる仕事もたくさんあり、世界中に

活躍のフィールドが広がっています」

採用の段階で語学力に関する基準は設けられていないが、内定から入社までに全員が英語の通信教育を受けるのをはじめとして、語学教育や研修の機会は数多く用意されている。入社後は、社内での英会話レッスンも開催。海外赴任前には集中的なトレーニングも受講できる。

「内定時の英語力は本当にさまざま。入社してから身につけるためのサポート体制は整えています。勉強する意欲さえ持っているなら歓迎です」と秋山さんは請け負う。

## 求められるのは 謙虚に学ぶ姿勢

海外からも注目を浴びるダイナミックな事業転換を成し遂げた富士フィルムでは、はたしてどんな人材を求めているのだろうか。秋山さんはこう話す。



写真フィルムで培った技術を活用して新分野へと挑戦を続ける。







事務系社員の約 15% が海外駐在中で、約 30% が海外駐在経験者だという。

「富士フィルムは、昨年創業 80 周年を迎え、「Value from Innovation」という新たなコーポレートスローガンの下、新たな価値を生み出し続け、世界中の人々や社会に広く貢献していくことを目指しています。変化のスピードが速いグローバルな市場で価値を生み出し続けるには、まずはどんな環境や状況においても、何かを学び取ろうという謙虚な姿勢が求められます。仕事を通して成長し

ていくには、まずは任された職場や役割のなかで全力で仕事に向き合い、『自分の頭で物事の本質を考える力』や『自分なりの熱い想いを持って行動し、やり抜く力』を高めていくことが求められますが、ベースとして素直さや謙虚さを持ってほしいですね。

また、グローバルな環境下で仕事をするには、自分の言葉ではっきり主張する力と、背景も含めて相手を理解する姿勢が大切だと思

います」

秋山さんによると、富士フィルムの社風は「変化をおそれず、果敢に挑戦を続ける」というもの。それは、容赦ない変化の日々をくり抜けるなかで身についた力かもしれないが、むしろそのような資質を持った社員がいたからこそ、富士フィルムの今があるのかもしれない。かつて、写真材料の研究一筋に打ち込んできた社員が、ある日いきなり化粧品の開発を命じられた時、「自分たちが培ってきた技術を違う形で新しい分野で生かし、今まで誰もできなかったことを可能にする……そう考えると、楽しいわくわくする気持ちになった」と話したという。

秋山さんは、目の前の現状や新しい変化を楽しみながら、学生時代にしかできない活動をやり切ってほしい、と話す。学生時代には自分なりの強い想いを持って一生懸命ひとつのことに取り組み、そのなかで葛藤したり悩んだりしながらも最後までやり切る経験を積むことをすすめている。大小を問わず、やり切った経験のなかで学んだことは、自分自身の成長につながるだろう、とのことだ。



現在を第二の創業期と位置づける富士フィルム。

## Corporate Information

### 富士フィルム株式会社

1934 年、写真フィルム国産化を目指して創業。以来、写真感光材料の製造を中心に、映画フィルム、レントゲンフィルムなどの開発を進める。さらに、フィルムカメラ、インスタントカメラなどカメラ製造にも取り組むかたわら、他に先駆けてフィルムを必要としない世界初のデジタルカメラを開発。現在では、写真のほか、医療・医薬・化粧品、高機能材料など幅広い事業を展開。1958 年米国とブラジルに拠点を置いたのを皮切りに、グローバル企業として成長を続けている。

グローバル企業の先輩に聞く！

# 人間関係が残る仕事を貫いたシンガポールでの 5 年半

**山本真郷さん** 富士フィルム株式会社 イメージング事業部  
instax (チェキ) グループ  
グローバル商品企画リーダー兼ブランド・マネージャー

## Q 海外駐在を希望した背景は？

父の仕事の関係で、幼少期を含め、延べ 12 年を欧米で過ごしました。その生い立ちが自分のバックボーンとなっており、将来は海外と関わりのある仕事をしたいと考えていました。富士フィルムは積極的に海外展開を行っていることと、写真フィルムという身近な製品を扱っていたことで親近感を持っていました。ちなみに、私が入社した 2003 年は、陰りは見えつつもまだフィルムが売れていた時代で、入社翌年頃からデジタル化への危機感を抱くようになり、社員一人ひとりが意識を変えて仕事に取り組むようになったと記憶しています。もともと海外志向が強く、入社当初から駐在の意志を伝えていましたが、3 年半で赴任したのは当時としては早いタイミングでした。

## Q シンガポール駐在中大切にしていたことは？

私が担当していた地域には 21 の国があり、その大半が非英語圏、しかもパキスタンやマレーシアなどイスラム圏の国も含まれていました。多様な文化や宗教を背景を持った人々と仕事をしていくなかで、自分が英語が堪能かどうかよりも、相手の語学レベルやカルチャーに合わせつつ、どのようにしてきちんと伝えていくか……という、よりパーソ

ナルなコミュニケーションや、交渉の際の工夫といったものがものすごく重要だと感じました。赴任前から東南アジアには尊敬する先輩社員がいて、仕事はスマートにやるだけではなく、人と密接に関わってやるものなんだ、ということを見せてもらっていたので、自分もきちんと人間関係が残るような仕事がしたいと思って取り組んでいました。一例を挙げると、現地スタッフと二人三脚で新しい取引先 (ユニバーサル・スタジオ・シンガポール) と交渉を重ね、独占スポンサーシップ権を獲得したことがありました。その時の成功体験は今の自信につながっていますし、一緒に仕事をした人たちは今でも親密につながっています。

## Q 商品企画を担当された「チェキ」の魅力は？

1998 年に発売されブレイクしたインスタントカメラ「チェキ」でしたが、写メールやデジタルカメラの普及によって売上はダウン。ところが、2007 年に韓国のドラマ中で使われたことがきっかけで、アジア圏の若い人の間で再び注目を浴びることになりました。こうした流れを受け、ビジネスの本格立ち上げに向けて「チェキ」グループが作られ、商品企画から販促まで集中してやるようになったタイミングで私も参加しました。直近の商品では、それまでの「かわいい」路線から一線を画し、男性が持ち歩いても違和感の

ないデザインと多彩な機能を備えたモデル「instax mini90 ネオクラシック」を企画しました。多重露光やバルブ露光などの機能を駆使することで、シーンごとに最適な写真が撮影できるという一台です。この商品に関しては、本当に世界を一周しながら調査し、世界を巻き込んで商品企画を行い、現地販売法人を回ってコンセプトを説明するといった活動をしました。これは、「チェキ」商品企画のひとつの転機になったと胸を張れます。自慢できるポイントは、かっこよくてなおかつ愛嬌もあるデザイン。かわいだけでなくスマートな見た目は、狙い通り海外でも評判です。

## Q 海外勤務を希望する学生にアドバイスを。

学生時代にはいい仲間をつくってやりたいことをやり抜く、という過ごし方をおすすめします。社会人になるための準備を無理にするのはもったいない。私の場合は NPO 活動をやっていたのですが、そこで得た経験は、今も生きています。特にメーカーで働くということは、「思いを形にする」とい



2003 年入社。輸出第一部で写真関連製品の海外マーケティングを担当。2006 年から約 5 年半、シンガポールに駐在。2012 年に帰国後はチェキの商品企画と海外市場への導入を担当。

うこと。何かを生み出すということは、興味を持ったものや本当に好きなことをやり通すということに通じると思います。英語力ということでひとつ付け加えるなら、ふだんからコツコツ積み重ねられることとして「語彙を増やす」ことがとても大切です。語彙力が上がれば自然と表現力も身につく、世界中の人とビジネス以外のことが話せ、深い人間関係を築くことができると思います。

## 山本さんのお仕事 アイテム

チームの仕事象徴する「チェキ」は常に持ち歩いています。海外赴任の頃からスケジュール管理はこの手帳。PC やスマホだと立ち上がりやローミングに時間がかかり、アナログがむしろ安心です。





# 失敗ケースから学ぶ 成功する留学の法則

留学  
カウンセラーに  
聞く

留学でよくある失敗やトラブルを知っておけば、海外留学を成功に導くための方法が見えてくる。留学カウンセラーとして30年以上の長きにわたって多くの留学生と対話してきた藤延芳子さんに、留学トラブルを回避する方策を教えていただいた。

藤延芳子さん

ヨーク国際留学センターチーフ留学カウンセラー、日本認定留学カウンセラー協会（JACSAC）会長。日本の留学カウンセラーの草分け的存在として、30年以上にわたって多くの相談者と向き合い、人間的な成長が望める最適な留学プランを提案している。ヨーク国際留学センター <http://www.york-global.jp/>

Case 07

## 逆カルチャーショック！ 日本の空気になじめません。

数年の留学を終えて、日本で就職するために帰国しました。留学中にさまざまな価値観に触れ、個性を大切に海外の文化・習慣が大好きになったのですが、一方で、帰国すると日本の空気には違和感を持ってしまい、今後、溶け込めるのか正直不安に思っています。



Advice

## 両国のよさを使い分けよう

ある程度人格ができあがっている大学生でも、長期で日本を離れると、帰国後、もともといた社会にうまくなじめず不具合を感じる「リエントリーショック」の症状が表れることがあります。例えば、相手に対してははっきりと主張したり、自分を表現したりしたことで怪訝な顔をされ、悩んでしまう学生も。自分の個性をこわしてはいけませんが、やはり「郷に入れば郷に従え」。帰国すれば、日本の文化・習慣を尊重することも大切です。

以前、ある組織で留学カウンセラーを募集したとき、面接中にもかかわらず、足を組んで話をする留学経験者を見て驚いたことがありました。しかし実はこれ、欧米諸国ではごく普通のできごと

なのです。大学のオフィスアワーでも、学生が足を組んだり、飲みものを飲んだりしながらラフな格好で教授と話をします。ときには、授業中に足を前へ投げ出して講義を聞く学生を見かけることもありますね。ですから、面接をしたときは「この人は海外の習慣をそのまま日本に持って帰ってきてしまったんだ、気をつけたほうがいいなあ」と思ったものです。

国際化が進む今、海外と日本、複数のスタンダードを知っていることは大きな財産になります。相手を尊重しながら上手に使い分けられるようになると、それは国際社会を生き抜く大きな武器となるでしょう。

Case 08

## 帰国後の就職活動が不安。 今からすべきことは？

現在、1年間の交換留学プログラムを活用し、アメリカの大学で学んでいます。来春帰国し、就職活動を始める予定なのですが、海外にいる間に準備しておくべきことはありますか？ 将来は、国内外問わず、世界を舞台に働きたいと思っています。



イラスト：よねやまゆうこ

Advice

## 留学でグローバル人材へと成長を

昨今の熾烈な就職活動による学生への負担を考慮し、経団連は2016年度卒業予定者より、就職活動の開始を大学3年生の3月、面接解禁を4年生の8月まで繰り下げることを決定しました。ですから、交換留学後のスムーズな就職活動を考える学生は、2年次の秋から3年次の秋にかけてプログラムに参加するのがベスト。留学前から学内の就職課へ行き、帰国後の就職活動スケジュールや情報収集の方法を確認しておくことをおすすめします。また、海外の都市へ行けば、外資・日系企業が留学生向けに就職活動の機会を提供するキャリアフォーラムが定期的に開催されています。現地で直接社員と会い、自分を売り込むチャンス。

長期留学生だけでなく1年間の交換留学生も参加できる場合がありますので、こうした情報にもアンテナをはってください。

では今、社会が求めるのはどのような人材でしょうか。世界共通言語である「英語」が話せることは大前提。そして、「異質なものを理解し、受け入れ、異質なものと英語でコミュニケーションが取れる」——それが、現代の社会で活躍できるグローバル人材だと私は考えます。この力は、留学を通して自立し、さまざまな価値観とぶつかりながら、解決、適応していくプロセスで身につくもの。ぜひ、より多くの若い人たちに、留学という選択をしてほしいと願っています。

## BOOK REVIEW

未来の  
グローバル  
リーダーに

## 読んでほしい1冊——『帝国ホテルの流儀』

### 伝説のホテル経営者の心意気に触れる

本書は、帝国ホテルの社長を勤めた犬丸一郎氏の自伝的内容と、帝国ホテルの歴史が同時に書かれている。著者が見たこと、聞いたこと、さらには有名人との交流など、映像で見ると豊かに伝わってくる。その中で印象的だったフレーズをいくつか紹介する。

【洗濯に出したい。出来れば帝国ホテルのランドリーに】

これは、とある映画の中で俳優のキアヌ・リーブスがアドリブで発した台詞である。彼が日比谷の帝国ホテルに滞在した際に利用し

たホテルのランドリーサービスの質にとっても感動したことを思い出し、世界中のホテルの中からあえて帝国ホテルの名前を選んで使用したものだ。この映画には北野武も俳優として出演しており、キアヌ・リーブスはユーモアを利かせたのだろう。

【地位が上がれば役得ではなく“役損”ということ覚えておけ】

“役損”という聞きなれない言葉が出てくる。これは著者が帝国ホテルの社長就任の前に、白洲次郎氏から受け取った言葉だ。偉

くなれば得することばかりでなく、リーダーとしてさらに自分を律することが必要で、身勝手など許されないという白洲次郎氏のポリシーが詰まった忠告として受け取ったという。

本書は、「帝国ホテル」ブランドを確立してきた従業員や著者の理念がしっかりと書かれている。一本筋の通った職人たちの心意気に刺激を受け、技術や知識ではない大切な何かを感じてみてはいかがだろうか。

(英検グローバルリーダー研究グループ

山田みよ子)



犬丸一郎 著 集英社新書 / 756円 (税込)



## Scholarship List

## 奨学金情報

みなさんの留学をサポートしてくれる奨学金制度をご紹介します。それぞれ、年齢や居住地など応募条件が異なるため、必ず事前に問い合わせしてから応募しよう。

1) 給付元 2) 募集期間 3) 募集人数 4) 給与内容 5) お問合せ

## 日本政府奨学金

- **海外留学支援制度（大学院学位取得型）**
  - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
  - 2) 在籍大学に問い合わせ
  - 3) 未定
  - 4) 月額 89,000円～148,000円（派遣先地域による）、授業料実費（上限250万円）
  - 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 大学院学位取得型担当）

- **海外留学支援制度（協定派遣）**
  - 1) 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）
  - 2) 在籍大学に問合せ
  - 3) 未定
  - 4) 月額 6万円～10万円（派遣先地域による）
  - 5) 03-5520-6014（留学生事業部海外留学支援課 短期留学（派遣）担当）

## 地方自治体奨学金

- **茨木市国際親善都市協会 留学生奨学金**
  - 1) 茨木市国際親善都市協会
  - 2) 5月頃
  - 3) 未定
  - 4) 年額 6万円
  - 5) 072-620-1810

- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 機械工学系**
  - 1) ニッポン・ブレイク・オハイオからフィンドレー大学に寄附
  - 2) 10月初旬頃
  - 3) 2名
  - 4) 2万ドル（授業料、住居費等）
  - 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

- **埼玉県・オハイオ州スカラシップ 総合系**
  - 1) 埼玉県
  - 2) 10月初旬頃
  - 3) 1名
  - 4) 授業料を1年分
  - 5) 048-830-2713（県民生活部 国際課 国際戦略担当）

- **「埼玉発世界行き」学位取得コース**
  - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
  - 2) 4月下旬～6月上旬
  - 3) 15名以内
  - 4) ①年間世帯所得が600万円未満の方、年間100万円以内 ②同600万円以上800万円未満の方、年間75万円以内 ③同800万円以上の方、年間50万円以内
  - 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉

- **「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース**
  - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
  - 2) 4月下旬～6月上旬
  - 3) 200名以内
  - 4) 20万円以内
  - 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉

- **「埼玉発世界行き」高校生留学コース**
  - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
  - 2) 4月下旬～6月上旬
  - 3) 50名程度
  - 4) ①保護者の所得が600万円未満の場合：留学期間179日以下30万円、留学期間180日以上60万円 ②保護者の所得が600万円以上800万円未満の場合：留学期間179日以下23万円、留学期間180日以上45万円 ③保護者の所得が800万円以上の場合：留学期間179日以下15万円、留学期間180日以上30万円
  - 5) 048-830-2711 埼玉県県民生活部国際課 グローバル人材育成担当

- **「埼玉発世界行き」協定・認定留学コース**
  - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
  - 2) 4月下旬～6月上旬
  - 3) 50名程度
  - 4) ①保護者の所得が600万円未満の場合：留学期間179日以下30万円、留学期間180日以上60万円 ②保護者の所得が600万円以上800万円未満の場合：留学期間179日以下23万円、留学期間180日以上45万円 ③保護者の所得が800万円以上の場合：留学期間179日以下15万円、留学期間180日以上30万円
  - 5) 048-833-2995（公財）埼玉県国際交流協会 グローバル人材育成センター埼玉

- **「埼玉発世界行き」高校生留学コース**
  - 1) 埼玉県グローバル人材育成基金
  - 2) 4月下旬～6月上旬
  - 3) 50名程度
  - 4) ①保護者の所得が600万円未満の場合：留学期間179日以下30万円、留学期間180日以上60万円 ②保護者の所得が600万円以上800万円未満の場合：留学期間179日以下23万円、留学期間180日以上45万円 ③保護者の所得が800万円以上の場合：留学期間179日以下15万円、留学期間180日以上30万円
  - 5) 048-830-2711 埼玉県県民生活部国際課 グローバル人材育成担当

- **戸田市海外留学奨学制度**
  - 1) 埼玉県戸田市
  - 2) 第1回：7月初旬頃
  - 3) 第2回：2月6日まで
  - 4) 若千名
  - 5) 授業料及び生活費、渡航費（限度額あり）
  - 6) 048-424-9582（教育委員会 教育総務課 総務担当）

- **（公財）長岡市米百俵財団 海外高校留学生奨学金**
  - 1) （公財）長岡市米百俵財団
  - 2) 6月初旬～8月初旬
  - 3) 3名
  - 4) AFSまたはYFUのプログラム参加費
  - 5) 0258-39-2238（事務局）

- **（公財）新潟市国際交流協会 新潟市高校生留学支援事業**
  - 1) （公財）新潟市国際交流協会
  - 2) A日程：6月初旬頃、B日程：7月初旬頃
  - 3) 3名
  - 4) AFSプログラム参加費の半額
  - 5) 025-225-2727（高校生留学支援事業係）

- **松本・土井アイリン海外留学助成金**
  - 1) 宝塚市
  - 2) 2月13日頃
  - 3) 未定
  - 4) 留学1回につき60万円
  - 5) 0797-77-2009（産業文化部 宝のまち創造室 文化政策課）

- **三重県私費海外留学生奨学金**
  - 1) 三重県
  - 2) 3月上旬～4月中旬
  - 3) 10名以内
  - 4) 年間授業料相当額（上限あり）
  - 5) 059-223-5006（公財）三重県国際交流財団）

- **瑞穂町海外留学奨学資金等支給制度**
  - 1) 瑞穂町教育振興基金
  - 2) 毎年6月1日～6月30日（第1期）
  - 3) 毎年1月4日～1月31日（第2期）
  - 4) 若千名
  - 5) 奨学資金（留学先学校の授業料またはこれに準ずると認められる費用）、渡航費（限度額あり）
  - 6) 042-557-7469（企画部 企画課 企画係）

- **山梨県アイオワ州短期派遣留学生**
  - 1) アイオワ州姉妹州委員会または留学先
  - 2) 4月中旬頃
  - 3) 1名
  - 4) 12単位分の授業料など
  - 5) 056-223-1436（山梨県観光部 国際交流課 国際交流担当）

- **山梨県派遣留学生**
  - 1) 忠清北道
  - 2) 12月下旬頃
  - 3) 1名
  - 4) 支度料、滞在費、国内旅費、語学研修費、宿舍管理費、厚生費など
  - 5) 055-223-1436（山梨県観光部国際交流課 国際交流担当）

- **四日市市科学教育奨学金**
  - 1) 四日市市教育委員会
  - 2) 5月～7月頃
  - 3) 毎年1人
  - 4) 月額10万円
  - 5) 059-354-8236（教育総務課）

- **淀江町青少年ゆめ基金活用事業補助金**
  - 1) 淀江町青少年ゆめ基金活用委員会
  - 2) 未定
  - 3) 未定
  - 4) 学費、渡航費を200万円まで
  - 5) 0859-56-3164

## 民間団体奨学金

- **IRENA Scholarship Programme**
  - 1) 国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
  - 2) 5月末頃
  - 3) 最大20名
  - 4) 授業料、教材費、ノートパソコン、医療保険、住居費、旅費、一部生活費などを2年間
  - 5) scholars@irena.org

- **（公財）アステラス病態代謝研究会 海外留学補助金**
  - 1) （公財）アステラス病態代謝研究会
  - 2) 4月～6月上旬
  - 3) 10名程度
  - 4) 1名あたり200万円
  - 5) 03-3244-3397（事務局）

- **（公財）飯塚教育英会 海外留学支援奨学金**
  - 1) （公財）飯塚教育英会
  - 2) 6月中旬～7月中旬
  - 3) 15名程度
  - 4) 大学生：年額40万円 大学院修士課程：年額60万円 大学院博士課程：年額80万円
  - 5) 028-649-2121（事務局）

- **石橋財団奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）**
  - 1) （公財）石橋財団
  - 2) 3月20日（必着）
  - 3) 5名程度
  - 4) 月額15万円を最長2年間
  - 5) 03-5454-5274（公財）日本国際教育支援協会事業部 国際交流課）

- **（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学金**
  - 1) （公財）伊藤国際教育交流財団
  - 2) 6月下旬～8月下旬
  - 3) プログラムA:10名程度
  - 4) プログラムB:3名程度
  - 5) プログラムA:生活費月額US2000ドル相当の円貨、学費、往復旅費 プログラムB:生活費月額US1500～2000ドル相当の円貨、学費、往復旅費
  - 6) 03-3299-7872（事務局）

- **イリノイ大学日本同窓会 小山八郎記念奨学制度**
  - 1) イリノイ大学日本同窓会
  - 2) 5月～10月頃
  - 3) 4名
  - 4) 年間授業料
  - 5) masa.furuichi@illini-club.jp（小山八郎記念奨学制度担当理事：古市）

- **オリエンタ財団奨学金**
  - 1) Fundacao Oriente
  - 2) 毎年1月
  - 3) 若千名
  - 4) 学費、渡航費など
  - 5) info@orienta.pt

- **Kiyo Sakaguchi 奨学金**
  - 1) プルテンシャル生命保険株式会社
  - 2) 6月～9月
  - 3) 1、2名
  - 4) 授業料年間最大300万円、最長4年
  - 5) 03-5501-5500（代表）

- **（公財）グルー・バンクロフト基金 奨学金制度**
  - 1) （公財）グルー・バンクロフト基金
  - 2) 9月中旬頃
  - 3) 3～5名
  - 4) ①毎年200万円を4年間支給。ただし留学先より授業料（全額）を免除される場合は、生活費として100万円を4年間支給（3名） ②毎年100万円を4年間支給（2名）
  - 5) 03-3408-6343

- **群馬県大学生海外留学奨学金**
  - 1) （公財）ぐんま国際教育財団
  - 2) 在籍大学に問い合わせ
  - 3) 一般留学：3名 研修留学：5名
  - 4) 一般留学：60万円 研修留学：30万円
  - 5) 0276-60-3450

- **公益信託グラクソ・スミスクライン国際奨学金基金**
  - 1) グラクソ・スミスクライン株式会社
  - 2) 4月上旬～5月中旬
  - 3) 3名以内
  - 4) 年額360万円を2年間支給
  - 5) 03-5786-5000（代表）

- **皇太子明仁親王奨学金**
  - 1) 皇太子明仁親王奨学金財団およびハワイ大学財団
  - 2) 11月中
  - 3) 1名
  - 4) ハワイ大学の学費、生活費等として年間2万5千ドル、渡航旅費（上限あり）
  - 5) 03-6741-0161（皇太子明仁親王奨学金日本委員会）

- **交流協会奨学金留学生**
  - 1) （公財）交流協会
  - 2) 10月下旬頃
  - 3) 若千名
  - 4) 奨学金：14万4000円（修士課程及び専門職学位課程）、14万5000円（博士課程）の月額基本額に加え、特定の地域で修学・研究する者に対して、月額2000円又は3000円を加算して支給、授業料など
  - 5) 03-5573-2600（総務部 奨学金担当）

- **国際ロータリー グローバル補助金奨学金**
  - 1) 国際ロータリーのロータリー財団
  - 2) 随時募集
  - 3) 未定
  - 4) 活動内容による
  - 5) 03-5439-5805（国際ロータリー日本事務局財団室）

- **国際ロータリー 新地区補助金奨学金**
  - 1) 国際ロータリーの各地区のロータリー財団
  - 2) 各地区により異なる
  - 3) 各地区により異なる
  - 4) 各地区により異なる
  - 5) 03-5439-5805（国際ロータリー日本事務局財団室）

- **佐藤陽国際奨学財団 海外派遣留学生奨学制度**
  - 1) （公財）佐藤陽国際奨学財団
  - 2) 未定
  - 3) 未定
  - 4) 奨学金月額8万円、渡航費25万円、交換留学一時金10万円
  - 5) 03-5487-2775（事務局）

- **CWAJ 海外留学大学院女子奨学金（SA）**
  - 1) College Women's Association of Japan
  - 2) 10月下旬～11月上旬
  - 3) 1名
  - 4) 300万円
  - 5) scholarship@cwaj.org

- **静岡市国際交流協会 ネブラスカ州立大学オマハ校 牧野スカラシップ**
  - 1) （公財）静岡市国際交流協会
  - 2) 5月中旬、12月下旬頃
  - 3) 1名
  - 4) 正規授業料減免など
  - 5) 054-354-2009

- **私費訪中留学生奨学金**
  - 1) （公財）東華教育文化交流財団
  - 2) 毎年6月
  - 3) 未定
  - 4) 月額3万円を1年間
  - 5) 03-3571-7613

- **秀桜基金留学賞**
  - 1) 秀桜基金
  - 2) 9月～10月末
  - 3) 3名
  - 4) 300万円
  - 5) 086-528-9530（秀桜基金事務局）

- **高橋 & ハワット記念奨学金**
  - 1) NPO日本スコットランド協会
  - 2) 3月1日～4月30日
  - 3) 1、2名
  - 4) 30万円
  - 5) 03-6380-5256

- **ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業**
  - 1) （公財）ダスキン愛の輪基金
  - 2) 9月～11月中旬
  - 3) 計8名程度
  - 4) 渡航費・研修委託費・日常生活費等（上限あり）
  - 5) 06-6821-5270

- **（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生**
  - 1) （公財）中島記念国際交流財団
  - 2) 8月中
  - 3) 10名程度
  - 4) 奨学金：月額20万円、渡航費：往復支給、支度金：20万円、授業料：留学当初の2年間に限り、年間300万円以内を支給
  - 5) 03-5770-8210

- **（公財）中富健康科学振興財団 留学助成金**
  - 1) 久光製薬株式会社
  - 2) 7月～9月
  - 3) 未定
  - 4) 留学助成金1名あたり50万円程度、渡航費など
  - 5) 03-5293-1705（中富健康科学振興財団 東京事務局）

- **日本 / 世界銀行 共同大学院奨学金制度**
  - 1) 世界銀行本部
  - 2) 2月下旬～4月中旬
  - 3) 15名程度
  - 4) 学費、生活費、渡航費、医療保険など
  - 5) jiwbgsp@worldbank.org ※英語のみ

- **馬場財団国際理解教育人材養成奨学金**
  - 1) （公財）日本国際教育支援協会
  - 2) 1月30日頃
  - 3) 7名程度
  - 4) 渡航費（日本国内主要空港から留学先主要都市までの往復相当）、奨学金（月額10万円×留学月数【3ヶ月以上12ヶ月以内】）
  - 5) 03-5454-5274（事業部 国際交流課）

- **Funai Overseas Scholarship**
  - 1) （公財）船井情報科学振興財団
  - 2) 6月～10月中旬
  - 3) 10名程度
  - 4) 授業料全額、医療保険費全額、生活費月額2500ドル、支度金50万、渡航費を原則2年間
  - 5) 03-3254-5635（財団事務局）

- **（公財）平和中島財団 日本人留学生奨学金（中島健吉記念奨学金）**
  - 1) （公財）平和中島財団
  - 2) 9月～10月末
  - 3) 15名
  - 4) 学部生：月額15万円、渡航費を最長2年間 大学院生：月額20万円、渡航費を最長2年間
  - 5) 03-5570-5261（事務局 日本人留学生係）

- **（公財）松下幸之助記念財団 松下幸之助国際スカラシップ**
  - 1) （公財）松下幸之助記念財団
  - 2) 6月にHPに掲載
  - 3) 最大10名
  - 4) 月額13-15万円を1年または2年分、渡航費
  - 5) 06-6908-4488

- **村田海外留学奨学金**
  - 1) （公財）村田海外留学奨学会
  - 2) 7月～8月
  - 3) 2～4名
  - 4) 学費、生活費、渡航費など留学に要する経費
  - 5) 075-681-2345（事務局）

- **（公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団「海外音楽研修生費用助成」制度**
  - 1) （公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団
  - 2) 4月3日頃
  - 3) 4名程度
  - 4) 年額200万円（原則2年間）
  - 5) 03-3349-6194

- **（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団 海外留学生奨学金**
  - 1) （公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
  - 2) 9月上旬～11月中旬
  - 3) 若千名
  - 4) 月額10万円（最長2年間）
  - 5) 0538-32-9827

- **（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム**
  - 1) （公財）吉田育英会
  - 2) 9月下旬頃
  - 3) 5名程度
  - 4) 生活滞在費：月額20万円、学校納付金：合計250万円以内、扶養補助（該当者のみ）、渡航費
  - 5) 03-5610-8103（事務局）

- **外国政府等奨学金**
  - **ヴァニエ・カナダ大学院奨学金**
    - 1) カナダ社会・人文科学研究会議、カナダ自然科学・工学研究協議、カナダ保健研究機構の3つの連邦給付機関
    - 2) 9月～10月
    - 3) 最大500名
    - 4) 年間5万カナダドル（最長3年）
    - 5) vanier@cifr-irsc.gc.ca

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金**
  - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
  - 2) 4月～6月末
  - 3) 未定
  - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長4年
  - 5) endeavour@education.gov.au

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバーチュン・コンフェローシップ**
  - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
  - 2) 4月～6月末
  - 3) 研究フェローシップ受賞者のうち上位5名
  - 4) 未定
  - 5) endeavour@education.gov.au

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー研究フェローシップ**
  - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
  - 2) 4月～6月末
  - 3) 未定
  - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料など
  - 5) endeavour@education.gov.au

- **オーストラリア政府奨学金 エンデバー専門技術奨学金**
  - 1) オーストラリア国際開発庁および技術革新産業科学研究高等教育省
  - 2) 4月～6月末
  - 3) 未定
  - 4) 授業料、渡航費、生活費、健康保険料などを最長2年半
  - 5) endeavour@education.gov.au

- **高円宮記念クィーンズ大学奨学金**
  - 1) クィーンズ大学、在日カナダ大使館
  - 2) 3月25日頃
  - 3) 未定
  - 4) 2万5000カナダドル
  - 5) awards@queensu.ca

- **Dr Goh Keng Swee Scholarship**
  - 1) Association of Banks in Singapore（ABS）
  - 2) 2月23日（必着）
  - 3) 3～4名
  - 4) 学費および必要経費、渡航費（往復）、生活扶助（年間6500シンガポールドル）、寮費、準備金（200シンガポールドル）
  - 5) applications@psd.sg

- **バンティング博士研究奨励金**
  - 1) カナダ保健研究機構、カナダ自然科学・工学研究機構、カナダ社会・人文科学研究機構の3つの連邦研究助成機関
  - 2) 7月～10月中旬
  - 3) 各年70名
  - 4) 年間7万カナダドルを2年間
  - 5) banting@researchnet-recherchenet.ca

- **大学院留学（学術系学位）プログラム**
  - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
  - 2) 4月～5月
  - 3) 約20名（「大学院博士論文研究プログラム」を含む）
  - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を12ヵ月
  - 5) 03-3580-3233

- **大学院留学（専門職学位）プログラム**
  - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
  - 2) 4月～5月
  - 3) 約5名
  - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、授業料（大学院留学プログラムのみ）および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を6～10ヵ月
  - 5) 03-3580-3233

- **大学院博士論文研究プログラム**
  - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
  - 2) 4月～5月
  - 3) 約20名（「大学院留学学術系学位プログラム」を含む）
  - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を3～9ヵ月
  - 5) 03-3580-3233

- **研究員プログラム**
  - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
  - 2) 4月～5月
  - 3) 約10名
  - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を3～9ヵ月
  - 5) 03-3580-3233

- **ジャーナリストプログラム**
  - 1) 日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
  - 2) 4月～5月
  - 3) 若千名
  - 4) 渡航費、生活費（留学先によって金額が異なる）、家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当。また、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険（本人のみ）を3～9ヵ月
  - 5) 03-3580-3233

- **経済団体連合会奨学金**
  - **日本人大大学院奨学生**
    - 1) （公財）経団連国際教育交流財団、（一社）東京倶楽部
    - 2) 9月中（大学において取りまとめ）
    - 3) 経団連国際教育交流財団奨学生1名 東京倶楽部奨学生1名
    - 4) 年間350万円（使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る）
    - 5) 03-6741-0162



# IELTS Hot News

異文化コミュニケーション能力育成を目指した大学教育のあり方を模索する「グローバル人材育成セミナー」が開催された。また、IELTS 奨学金は、今年度も多くの留学生を後押しする予定だ。

## 大学教育の今後を考える グローバル人材育成セミナー

### 学生と教育者に向けた 2つのセッション

昨年12月6日に、関東学院大学において、『グローバル人材育成セミナー』（主催：関東学院大学英語英米文学科、共催：公益財団法人 日本英語検定協会）が開催された。

2015年度から開設される関東学院大学国際文化学部への立ち上げに向けて、学院創立時から世界基準に照らして進められてきた関東学院の教育実践の充実を目的として開催さ

れた企画である。

セミナーは2部構成で行われ、前半には、以下の2つのセッションが実施された。①高校生・大学生向けの「グローバルステージに羽ばたけ！～世界へのドアの鍵を手にするために」大門小百合氏（ジャパントイムズ）、「やってみよう！～リスニングからスピーキングへ」内藤チャーチ香（日本英語検定協会）、②教育者向けの「教師の成功を促すARによる授業改善～まず何から始めましょうか？」佐野正之氏（横浜国立大学名誉教授）である。

英語教育関係者をはじめ、参加者の活発な意見交換も行われた。



セッションで登壇された横浜国立大学の佐野正之名誉教授。

### 熱心に議論された 今後の教育のあり方

後半は「グローバル人材育成を目指す大学教育～異文化コミュニケーション能力を支えるもの」をテーマに、シンポジウムが行われた。葛城崇氏（文部科学省初等中等教育局国際教育課）の基調講演に続き、パネリストの本間充（日本英語検定協会）、本村浩二氏（関東学院大学文学部英語英米文学科長）による提案が行われた。

大学卒業時まで育てるべき学士力として、特に異文化コミュニケーション能力の重要な鍵となる英語運用能力を保障するカリキュラム開発、英語の4技能を総合的に測

る入試の重要性、また、国によって進められている「英語教育改革」に応じた大学の意識改革の必要性が強調された。

フロアからは、「今後の入試改革に現場はどのように対応していくべきなのか」「大きく変わりゆく英語教育に対応できる教員養成のあり方はどうあるべきか」などの質問が投げかけられ、教育のあり方についてともに考える有意義な会となった。

セミナー終了後に行われた情報交換会に参加した高校教員からは、関東学院大学新学部への大きな期待の声が寄せられた。

会場となった  
関東学院大学。



## 留学実現をサポート IELTS 北米奨学金 2015

### IELTS 北米奨学金 2015

#### 申し込みは6月末まで

昨年25周年を迎えた英語運用能力試験IELTSでは種々の奨学金制度を設け、日本人のさらなる国際化、文化・教育分野での交流促進、個々の受験生の夢の実現のサポートに寄与している。このたび、2015年度の「IELTS 北米奨学金」の概要が発表された。この奨学金は、米国またはカナダの大学・大学院への留学を目指す人が対象となる。ぜひ多くの方のチャレンジに期待したい。

問い合わせ先、詳細は、英検 IELTS ウェブサイト (<http://www.eiken.or.jp/ielts/compilation/>) から確認できる。

概要	IELTS 北米奨学金制度は、米国またはカナダの大学・大学院へ留学される方を対象とします。異文化間の交流を目的とする、公益財団法人 日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルは、日本から3人の奨学生を選考し、6,000USドル（注）を学費補助として支給します。奨学生は、入学の際に求められる英語力をIELTSで証明したうえで、米国またはカナダの大学・大学院への留学を2015年に開始している、もしくは開始することが求められます。
応募資格	1 応募時点で日本在住の方 2 米国またはカナダの大学・大学院に2015年中に進学する方。（二次選考日までに、進学先からの入学許可の提示ができること） 3 2013年4月から2015年6月13日までに日本国内でIELTSを受験し、オーバーオールスコアで6.0以上を取得された方 4 留学中・留学終了後に渡り、IELTS大使としてIELTSと留学に関する広報にご協力いただける方
選考者	IELTS 北米奨学金事務局
奨学生予定数	3人
支給金額	6,000USドル（注）
選考日程	1 申込締切：2015年6月30日（消印有効） 2 一次選考通過者発表：2015年7月10日 3 二次選考日（インタビュー）：2015年7月16日もしくは17日 4 受賞者発表：2015年7月20日 5 授賞式：2015年7月下旬



© British Council/  
Kenichi Aikawa

\*注：6,000USドルは、日本円に換算されて日本の銀行口座へ振り込まれます。換算レートは2015年8月のブリティッシュ・カウンシルのレートを採用します。

THERE ARE  
1001 WAYS  
TO SPEAK  
ENGLISH.

# IELTS™

And one easy way to test it.  
Study in the USA:  
**takeIELTS.org**

IELTS is now accepted by more than 9,000 organisations in 135 countries around the world – including over 3,000 institutions in the USA.

**BRITISH  
COUNCIL**

**英検** 公益財団法人  
日本英語検定協会

IELTS is jointly owned by British Council, IDP: IELTS Australia and Cambridge English Language Assessment





ブリティッシュ・  
カウンシルの  
講師に聞く

# IELTS テストのコツ

by Robert Watson

苦手意識を持っている人が多い、スピーキングテスト。今回は、自分ひとりでも効果的に学ぶことができるスピーキングの自宅学習の方法とコツを紹介する。

## メモを取って考えをまとめる

IELTS 対策の指導をしていると、日本の学習者から「スピーキング対策に重点を置きたい」という声をよく聞きます。その理由は、スピーキングを苦手としているということと、この分野はひとりで学習するのは難しい、というイメージがあるからでしょう。そこで、今回は自宅でスピーキング学習をするための方法をお教えします。

テストの Part 1 では、家族や学校、仕事、趣味や休日といった身近なテーマについて試験官の質問に答えます。この課題をうまくこなすには、自分で課題を考え、どういったことを話しか短くまとめてみましょう。

例えば、「仕事」について話すと考えた場合、このようなメモを作ってみます。

Sales Assistant, location – Tokyo, shift system – 3 patterns, work 35 hours per week, from 2012.

(セールス・アシスタント、場所：東京、シフト制：3交代、週35時間労働、2012年から)

**Positive:** Colleagues pleasant, quite easy to do, no stress or pressure, like work in Tokyo.  
(利点：感じのいい同僚、楽にできる、ストレスやプレッシャーがない、東京で働くのが好き)

**Negative:** Salary – poor, promotion chances and opportunities to use English limited.  
(欠点：給料が低い、昇進のチャンスや英語を使う機会が限られている)

**Future:** UK – study English – work in English in Fashion.  
(将来：イギリスで英語を学ぶ、ファッション業界で英語を使って働く)

メモを見ながら、センテンスで話す練習をしてみましょう。自分の声を録音して聞き、発音、口ごもっていないか、文のつながりをチェックしながら語彙と文法も改善します。これを3、4回繰り返すといいでしょう。

Part 2 では、与えられた課題に沿って1～2分のスピーチを行います。メモを取りながら考えをまとめる時間が1分間ありますが、その時は話す文章を書くのではなく、キーワード

とどのような表現を使うかを書き留めておきます。ひとつ例を挙げましょう。

### 課題

Describe a beautiful place to visit in your country.  
(あなたの国で、訪れるのにいい美しい場所を描写しなさい)

You should say:

- where it is (それはどこか)
- how to get there (どのように行くか)
- what there is to do when you are there (そこに行ったら何をするか)
- and explain why you recommend this place. (なぜこの場所をすすめるか説明する)

### メモ

Okinawa (沖縄)  
plane (飛行機)

diving (world renowned), swimming, sunbathing (lazing on the beach), eating – specialities, sightseeing – aquarium  
(ダイビング<世界的に有名>、水泳、日光浴<ビーチでのんびり>、食べ物：名物、観光：水族館)

relaxation, climate, – In Japan – language, currency, but feels like overseas

N.b typhoon season – avoid.

(リラックスできる、気候、国内、言葉、通貨、でも海外のようでもある)

注意：台風シーズンは避ける)

## 会話をコントロールする表現

メモを取るときはタイマーを使い、1分以内に書き終えるようにしましょう。そして、メモを見ながら話すときはまたタイマーをスタートさせ、1～2分間話せるようにします。IELTS 問題集などから課題を選び、録音しながら何度も練習してみましょう。

Part 3 は、試験官との1対1のディスカッションになります。そこで、会話をうまくコントロールするための表現を身につけておきます。

### ● 意味を確認する (内容は別の言葉で言い換える)

Do you mean ...?

(それは……という意味ですか?)

So you are asking ...?

(……と尋ねているのですね?)

### ● 時間を稼ぐ

Let me see ...

(そうですね……)

That's a good question.

(それはいい質問ですね)

I have never really thought about that before but ...

(それまでそれについて考えたことがありませんでしたが……)

これは、例えば以下のように使うことができます。

**Examiner:** Why do you think people like to travel to different places in their free time?

**Candidate:** Do you mean why do people want to travel during their vacations?

**Examiner:** Yes, that's right.

**Candidate:** That's a good question, well I think that people like to travel to different places to broaden their experience, so they can see different culture and lifestyles.

### 〈日本語訳〉

**試験官:** なぜ人は自由な時間があると外国に旅行することを好むのだと思いますか?

**受験者:** なぜ休暇中に旅行したがるのかということですか?

**試験官:** はい、そうです。

**受験者:** それはいい質問ですね、私は、人は視野を広げるために、外国に旅行することを好むのだと思います。異なる文化やライフスタイルを見ることができずから

日頃から語彙や文法について学び、さまざまな表現方法を身につけるとともに、今回紹介した方法で自信をつけましょう。

# IELTS™



IELTS.  
The international  
license.

## IELTSという名の国際免許証

IELTS (International English Language Testing System、アイエルトツ) は、英語圏への留学や、移住を志す人の英語能力を評価するために作られたテストです。信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダを始め世界135カ国で約8,000の機関が、IELTSを受け入れ基準として認めています。2012年の全世界合計の受験者数は200万人に達し、英語能力試験のグローバルリーダーの役割を果たしています。

日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、岡山、福岡、札幌、仙台、金沢、埼玉、松本、高知で受験することができます。

お問合せ・受験申し込みは、  
公益財団法人 日本英語検定協会 IELTS 事務局まで  
[www.eiken.or.jp/ielts](http://www.eiken.or.jp/ielts)

### IELTSとは…

16歳以上を対象にしたテストで、英語で授業を行う大学や大学院に入学できるレベルに達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュールと、英語圏で学業以外の研修を考えている方向けのジェネラル・トレーニング・モジュールの2種類があります。いずれも、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのテストで構成されています。



ブリティッシュ・カウンシルでは、IELTS試験対策コースを開講中!!  
[www.britishcouncil.or.jp](http://www.britishcouncil.or.jp)

f 勉強法や留学した人の体験談がわかる  
<http://www.facebook.com/IELTS.BritishCouncilJapan>

英検 公益財団法人  
日本英語検定協会

BRITISH  
COUNCIL

公益財団法人 日本英語検定協会は、  
ブリティッシュ・カウンシルと日本での  
IELTSを共同運営しています



## IELTS 対策コースナビ

Vol. 8

SI-UK ~スピーキング編~

アカデミックなテーマを  
論理的に話す力を養う

留学準備をサポートする多くの機関やスクールが、IELTS 対策に的を絞ったコースを開講している。世界各国に 8 つのオフィスをもち、90カ国以上の学生や社会人を英国留学へと導く SI-UK に、IELTS 対策コースについて聞いてみよう。

英語を口にして  
自分に自信をつける

IELTS では、試験官との 1対1 のスピーキングテストがあり、これによって、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングという英語の 4 技能をバランスよく測ることができるようになっていく。しかし、日本の学習者は、スピーキングテストに対して特に苦手意識を持っていることが多いようだ。

「日本の学校では文法学習やリーディングが中心で、そもそも "英語を話す" という経験のある人が少ないようです。また、日常会話はある程度こなせるとしても、IELTS が必要とする、アカデミックな話題についていくのが難しいようですね」と、IELTS 対策の専門家である鈴木ポーラさん。ポーラさん

は、イギリスの大学・大学院への留学サポートを専門に扱う SI-UK の語学センター長を務め、数多くの日本人学習者を指導してきた。

SI-UK では、通常の IELTS 対策コースの中で 4 技能を全体的に向上させるほか、試験の直前対策として、集中スピーキングセミナーを開催。IELTS の過去の問題を使い、答え方のポイントをつかむと同時に、ネイティブ・スピーカーの講師とともに本番に近い練習を行う。こういった学習を通し、何より自分の英語に "自信" をつけることが大事だと、ポーラさんは語る。

「授業の中で、講師やクラスメートと英語でやりとりすることによって、英語を口にすることに慣れるようになります。また、クラスメートとアカデミックなテーマについてディスカッションをすることで、理由や結論

を明らかにしながら論理的に話す方法を学ぶようになるのです」

ソフトに話す  
テクニックを習得

IELTS のスピーキングテストは 3 つのパートに分かれ、それぞれ形式と難易度が異なる。Part 1 では家族や学校、仕事、趣味など身近なことについて試験官の質問に答える。「ここはウォーミングアップだと思っていいでしょう。緊張をほぐすつもりで臨んでください」。

Part 2 では、試験官から渡されたカードに書かれているテーマに沿って、簡単なスピーチを行う。「環境問題、経済、テクノロジー、福祉など社会的なテーマも含まれます。考えをまとめる時間が 1 分間あるのですが、そもそも何を言えばいいか思いつかないとい

う人が多いようです。普段から社会の中で起きているできごとを意識し、自分の考えを英語で表現することができるようになっておく必要があります。また、1~2分程度のスピーチになるよう、一定時間話し続ける力を養うことも大切です」。

Part 3 では、Part 2 のテーマに関連し、試験官とディスカッションを行う。「試験官の質問を正確に理解し、答えを論理的にまとめてください。単に日本語を英語に置き換えるのではなく、意見を述べる際には必ず理由をつけるなど、英語らしい発想で話すことが肝心です」。

SI-UK のこれまでの指導では、授業中にクラスメートとディスカッションを行うことで、スピーキング力が向上した例が多いそうだ。「文化の違いからか、日本ではほかの人の意見に異を唱えることをためらう人が多いようですが、例えば、I can understand your point of view, but ... (あなたの意見は分かりますが……) とソフトに切り出すなど、上手に話すテクニックを身につければ、それも苦ではなくなってくるよ」。

## IELTS に対応するコース

## フルタイム IELTS

100 時間で 4 セクションを効率よく学ぶ。週に 1 回、講師と 1 対 1 で現状を確認するチュートリアルも実施する。

## レベル別 IELTS グループレッスン

入門・初・中・上級の 4 つのレベル別コースに分かれて 4 セクションを学ぶ。全コースが少人数制で行われる。

## IELTS/Academic Writing グループレッスン

語彙力、文法力を身につけ、アカデミックな文構造やさまざまなタイプのエッセイの構成を集中的に学ぶ。

## IELTS Speaking 直前対策セミナー

東京会場の試験日程に合わせ、翌日のスピーキングテストのために、土曜日の夜に開講する直前対策レッスン。

## 短期集中特別コース

GW や夏休みなどの連休に開講される短期コース。IELTS のレベル別コースのほかにもさまざまなコースを設定。

## IELTS/Academic Writing 通信制コース

講師と Email でやりとりをしながら、Task 1、Task 2 の、アカデミックライティングスキルの向上を目指す。

## プライベートレッスン

グループレッスンを受講後、自分の弱点に特化して集中して学ぶなら、プライベートレッスンがおすすめ。

SI-UK <http://www.ukeducation.jp/>

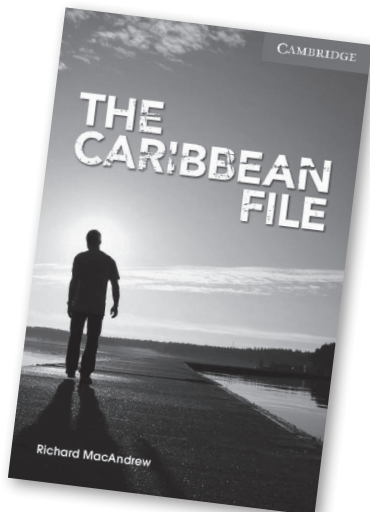
## Book IELTS 攻略本

## Cambridge English Readers

## レベルに合った読み物

質の高い文章とストーリーのおもしろさを兼ね備えた、全タイトル書き下ろしのリーダーシリーズ。初級から上級まで全 7 レベルで構成されています。自分のレベルに合った本をたくさん読むことで、英文を読むスピードを上げ、効果的に読解力を養えます。音声もウェブサイトから無料でダウンロード可能。IELTS のリーディングだけでなく、リスニング対策にもおすすめです。

Starter 600 円 Level 1 620 円 Level 2 670 円  
Level 3 710 円 Level 4 760 円 Level 5 810 円  
Level 6 860 円 ※価格はすべて本体価格です

上手な  
活用法

自分の英語レベルに合わせて興味のあるジャンルからスタート。英文を英語のまま理解するよう心がけ、分からない単語があっても、一回一回辞書をひかずに、ストーリーを楽しみましょう。

Cambridge Discovery Education  
Interactive Readers

## オンライン学習もできる

Discovery Education™ との提携で誕生した新しいリーダーシリーズ。全てが Discovery Education™ のコンテンツに基づいて書かれたノンフィクションで、1 年間オンライン学習が楽しめるアクセスコード付き。ビデオを使った刺激的な学習が可能です。IELTS のリーディング・リスニング対策を兼ねて、楽しみながら学習を進めることができます。

A1, A1+, A2, A2+, B1, B1+, B2, B2+  
本体価格 780 円

上手な  
活用法

辞書をひきながら読むのではなく、ストーリー自体を楽しむことがポイントです。オンラインでは、ビデオを見ながら学習することができ、リスニング力の向上にも役立つシリーズです。



## Vol. 15 インペリアル・カレッジ・ロンドン

## 角岡正嗣さん

## 留学で培う3つの力

## ロンドンの街が学びの素材に

大学卒業後に建設会社に就職し、青年海外協力隊を経て開発コンサルタント会社に勤務しました。そして同社を退職し、2013年9月からインペリアル・カレッジ・ロンドン大学で交通工学の勉強をしています。欧州各国のみならずアフリカ等多くの国で使用され

ているイギリス流の交通・道路の分析・整備・運用手法を学校で学び、さらに東京と同じように公共交通機関が発達したロンドンの街そのものを生きた教材としながら、充実した日々を送っています。この半年間で得た3つの力を、みなさんに紹介したいと思います。

ちから

1

## 技術力

## 理論を生かした実践的な課題解決

本コースはユニバーシティ・カレッジ・ロンドンと共同で運営されており、2校の素晴らしい教授陣が教鞭を執っています。最初の秋期では交通概論、交通運営、定量的手法、交通需要予測、交通経済、交通政策をそれぞれ必須科目として履修し、春期は選択科目を履修します。公共交通や海上交通、アクセシビリティなどさまざまな科目があるなか、道路を専門とする私は、道路工学、交通理論と適用(交差点計画)、都市道路計画、道路・地下掘削設計の4科目を選択しました。

各授業の内容は、多角的に交通を捉えた内容になっています。ソフト分野である政策・交通経済では、国・都市レベルの交通政策やその経済的評価方法などについて英国および世界各国の事例を基に勉強しました。次にプログラム・プロジェクトレベルで必要な知識として役立つ

交通運営・定量的手法・交通需要予測は、数多く出される課題に取り組むことによって理解を深めていきました。

なかでも技術力向上に大いに有用だったのは、実践的な内容の授業でした。都市道路計画の授業では、計画手法の講義を行う一方、グループで取り組む課題として実際の街路を対象にロンドン交通局・市役所の方に対して改善提案を行うものでした。まさにコンサルティング業務と同じです。現地踏査と文献調査による現状分析を行い、それを基に改善策を考え、その良い面・悪い面を含めた影響を考察したことは、一連の業務の流れととても似ていました。ほかにも、交差点の理論を勉強した後、実際に多くの国で使われているソフトウェアを利用した解析を基に改良計画を作成する課題や、新規建設道路の平面・縦断線形計画、横断構成、舗装設計を英国基準に基づき提案する課題などもとても実践的でした。

理論からそれをどう生かすかという点まで踏み込んだ授業はとても有益で、日本の手法に加えて英国手法も学べた経験を、卒業後にさらに活用していければと考えています。



ロンドンの街を走る道路を題材に、課題解決に取り組んだ。

ちから

3

## サバイバル力

## 状況を把握し、自分の強みを生かす

学生生活を始めるに当たり、まず大切なのは情報収集です。大学は、図書館、運動施設、各種学会の加入とセミナー、学生版ソフトウェアの無償提供、英語クラス、学生食堂やバーなど、実にさまざまなサービスを用意していますが、一つひとつ丁寧に説明してくれるわけではありません。自分にとって快適な学習環境を整えるためには、自分で必要な情報を取りに行く必要があるのです。

また、25歳まで英語と無縁で、苦手としていた私にとっては、授業も一筋縄ではいきません。教授の話している内容をいつも正確に聞き取ることは困難ですし、グループディスカッションでは話の流れにおいていかれることもありました。そこで、授業の予習・復習や、実務経験を生かしたグループ課題への貢献、授業での発言など、自分のできることや強みを生かして授業に取り組むことによ

異文化に触れ、多様な価値観に出会える海外留学。

「IELTS 北米奨学金」「IELTS Study UK 奨学金」の受賞者は、留学でどんな力を培ったのだろうか。

インペリアル・カレッジ・ロンドンで学んだ角岡正嗣さんに留学で身につけた3つの力について教えてもらった。

ちから

2

## 理解力

## 多様な背景を持つ相手を理解する

私が住んでいるロンドンには英国の首都ですが、そこに住む人は多様性に富んでいます。2011年のセンサス(人口調査)によると、ロンドンに住んでいる白人の英国人は45%にすぎず、他国の白人やインドやパキスタンなどのアジア系、カリビアン系、アフリカ系など多様な民族性を持った方が住んでいます。近くの通りにはトルコ・ギリシア系の店が多いですし、何より現在部屋をお借りしているのも英国人とブラジル人のご夫婦の家です。これは大学でも同様で、大学の集計によると、英国国籍の方は38%で、中国をはじめ他のヨーロッパ諸国、インド、マレーシアなど国外からの学生が62%と過半数を大きく上回っています。また教授陣も日本人を含めた各国の方が教壇に立っていらっしゃいます。

このような環境で生活し、学校に通っていると、さまざまな感覚の違いに気づかれます。例えば、学校近くの公園で「ロンドンは大都市なのに緑がたくさんあっていいね」と私が言うと、タイ人の同級生は同意したのですが、フランス人の同級生は「そんなに多くはないと思うな。パリにもたくさん自然があるし」と言いました。また、こんな例もあります。地下鉄の駅は古くに建設されたためエスカレーターやエレベーターの設置が十分

でないところがたくさんあります。それではベビーカーでの移動に困るので、早急に対応しなければいけないのではないかと私は思いました。しかし、子連れの方は階段に到着すると、すぐ近くの人に声をかけ、かけられた方も快く応じてベビーカーと一緒に持って階段を上り下りする光景を何度も見かけました。

そのような経験から、人とコミュニケーションをとる際や物事を考える際に、その背景を意識するようになりました。このトピックは自分にはこのように感じられるが、相手にはどのように映っているのだろう、どのように考えているのだろうと想像します。それによって今までより相手のことを理解する力がついたのではないかと思います。



さまざまなバックグラウンドを持つクラスメイトと。



ロンドンの中心部にあるキャンパス。

り、授業の流れに乗ることができるようになりました。もちろん一方では、地道に英語の勉強も続けています。

日常生活でも大小さまざまな困難に出くわします。学生用定期券の発送ミスによるトラブルに対して何度も電話をかけて解決しなければいけなかったり、スーパーでは、自分でバーコードを読み取って清算するセルフレジの使い方に戸惑ったり……。このように、英語が得意でない場合は、ネイティブの方と比べて少し

不利な環境で生活することになります。これが通常の国際的環境ではないかと思っています。留学生活で身につけた、「情報を自発的に集めて状況を把握し、自分の強みを認識して生かしていくサバイバル力」は、今後も役立っていくと思っています。

今は、この留学を応援してくれた家族、会社の方々、大学の恩師、友人、そしてIELTS奨学金に、感謝の気持ちでいっぱいです。